

2023年度

母子保健情報センター 報告書

目次

①	大阪母子医療センターの母子保健活動	1
②	【特集】リトルベビーハンドブックに関する取り組み	3
	1. 全国的な経過	3
	2. おおさかりトルベビーハンドブック	3
	3. 大阪母子医療センターにおける出生体重1500g未満の児とその家族の支援	6
	4. リトルベビーハンドブックに関する調査	8
③	大阪府の母子保健指標	15
	1. 市町村別人口動態統計	15
	2. 市町村別母子保健指標	19
	3. 解説：成育医療等基本方針に基づく評価指標～低出生体重児を例に	20
④	母子保健情報センター業務報告	24
	・母子保健調査室	24
	・情報企画室	33
⑤	編集後記	42

1 大阪母子医療センターの母子保健活動



母子保健情報センター長
総長 倉智博久

2023年度の母子保健情報センター報告書をお届けいたします。今回の特集は、大阪府での取り組みとして作成し、当センターでも対象者に配布している低出生体重児用ハンドブック「おおさかりトルベビーハンドブック」を取り上げました。このハンドブックは2022年に作成され、2023年から1,500g未満の子供さんの保護者に配布されています。本記事を通じて当センターでの低出生体重児への取り組みを知っていただけますとともに、ご意見をいただけましたら幸いです。また、今回も大阪府の母子保健指標は各市町村別の表としてまとめ、必要に応じてグラフなどを作成していただける形式で提供いたします。

2023年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類相当に移行しました。その後大きな流行がみられず、また、オミクロン株が主流となってからやや軽症化の傾向も見られ、4年以上という長期間にわたるコロナ禍がやっと収束しつつあります。

2023年4月には、待望久しかった「こども家庭庁」が設置され、「こどもまんなか」のさまざまな施策が計画されつつあります。2023年末には「こども未来戦略」が閣議決定され年3.6兆円という大規模な対策費が盛り込まれていますが、肝心の財源が不透明なままです。「産後ケア事業」は広がりつつあり、大阪市を含め当センターの「産後ケア」利用者をサポートする自治体は11市2町1村に広がり、利用者は2023年度は229件（82人）と前年度の175件（62名）から利用者が増加しました。

当センターの母子保健情報センターには母子保健調査室と情報企画室とがあります。母子保健調査室は、府民及び職員向け広報、WHO指定協力センター業務を含む国際貢献事業、当センター内外の研修の策定・研修生の受け入れ、など様々な機能・役割を果たしていますが、何といても重要なのは大阪府の母子保健に関する調査・研究・指導です。この目的を遂行するため2017年11月には、「母子保健推進委員会」および同小委員会を発足させました。この委員会は、当センターで活発に行われている母子保健活動をまとめてセンター内外に発信することに加え、実務としてはハイリスク妊産婦および子育て支援活動をサポートすることを目的としています。また、「にんしんSOS」など多くの府からの受託事業もあります。今後も体制を強化して大阪府の母子保健で指導的な役割を果たしていきたいと考えています。

情報企画室も、電子カルテシステムの開発および運営管理に加え、ネットワークを含む院内IT機器の整備・運用支援やWeb会議のサポートなど重要な業務を担っています。

2018年3月に開始した「地域医療連携ネットワーク事業（南大阪MOCOネット）」は、本年も参加施設数を増やしました。接続施設数は2023年度末で病院10、診療所33、歯科診療所6、訪問看護ステーション29、障害福祉施設1、医療福祉施設2、薬局16、保健所3の計100か所となっています。当センターの患者基本情報、退院時サマリー、検査結果、画像情報などはもちろん医療機関に対しては、医師記録、看護記録にも開示情報を広げています。このサービスをさらに多くの連携施設に広げるとともに、機能をさらに充実させます。

今後、当センターでは幅広い母子保健活動をさらに充実させるとともに、本報告書を通じてその活動を発信していきたいと考えています。皆さまのご協力、ご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2 【特集】リトルベビーハンドブックに関する取り組み

大阪府では、2022年に低出生体重児用ハンドブック「おおさかりトルベビーハンドブック」を作成し、2023年より提供を開始した。今回の特集では、リトルベビーハンドブックについて取り上げる。

1. 全国的な経過

母子健康手帳は母子保健上の重要なツールであり、半世紀以上に渡り、妊娠、出産、育児の記録として活用されてきた。記録された母子健康手帳は、保護者が保管している場合や保護者から子どもに手渡されている場合が大半であること¹⁾が報告されている。

母子健康手帳は、全国統一の様式である「省令様式」と市区町村の判断で具体的な記載内容を決定できる「任意様式」で構成されている。省令様式として、発育曲線や保護者の記録（年齢ごとの児の成長発達の記録を含む）が設けられている。しかしながら、発育曲線は身長40cm以上・体重1kg以上から書き込むことができる様式になっていること、年齢ごとの児の成長発達の記録は定型発達を想定していることより、低出生体重児の場合に活用できないという課題があった。また、低出生体重児の保護者は、児の出生後に精神的に落ち込みやすいことは海外の研究においても明らかにされており^{2), 3)}、低出生体重児の保護者に寄り添う取り組みの必要性が示唆されていた。

そこで、静岡県は、当事者団体、医療関係者、行政関係者と共に日本初の低出生体重児用ハンドブック「しずおかリトルベビーハンドブック」を作成し、2018年に提供を開始した。静岡県のリトルベビーハンドブックの取り組みは、「第7回健康寿命をのぼそう！アワード〈母子保健分野〉」を受賞した。その後、低出生体重児用ハンドブックは他府県にも普及し、2024年4月時点でほぼすべての都道府県においてリトルベビーハンドブックが提供されている⁴⁾。

2. おおさかりトルベビーハンドブック

大阪府では、当事者が大阪府に対して要望書を提出したことを契機に、低出生体重児用ハンドブックの作成について検討を開始した。低出生体重児用ハンドブック作成にあたり、当事者、医療関係者（医師、看護師、心理士）、行政関係者（市町、中核市、政令指定都市、保健所の保健師）で構成された「大阪府低出生体重児向け手帳作成ワーキング」が発足した。ワーキングは、2022年7月から12月に計4回開催された。

1回目のワーキングでは当事者からの要望や手帳の活用方法に関する議論が行われた。当事者からは、「ママだけではなく、同じ経験をしたパパのメッセージが欲しい」「大阪府外の病院で出生した方にも低出生体重児用ハンドブックを配布してほしい」等の要望があった。また、名称は、政令指定都市や中核市を含む大阪府全域で活用できるように、「お

おさかりトルベビーハンドブック」の呼称が最終的に採用された。対象者について、対象者の出生体重や年齢等により基準を設けることが検討された。活発に意見交換が行われ、最終的に出生体重1500g未満かつ3歳未満のお子さまとその保護者を対象とすることが決定した。

2回目のワーキングでは当事者・医療関係者・行政関係者の各グループでの検討が行われた。当事者グループでは、手帳の項目や当事者からのメッセージ等について議論が交わされた。就学までの記録、出産後のママの気持ち、母乳バンクに関する情報の追加について要望があった。医療関係者グループでは、医療的知識、発達項目、NICUでの活用方法等について検討された。医療的知識は、時代によって変更となる可能性を勘案し、ハンドブック内ではなく、大阪府のホームページ上に掲載する方針となった。発達項目として、定頸、寝返り、座位等が確認できた日時を記入する欄や写真を貼るためのスペースを設定する方針とし、自由に成長発達を記載できるように、年齢の節目の記録を記載できるページを設けることとなった。また、NICUでの活用方法の1つとして、退院時にスタッフが記入するメッセージ欄が設けられた。行政関係者グループでは、手帳の活用、母子保健の支援での活用方法等について検討された。「保健師」の存在を情報提供するためのページに関する具体的な内容について主に議論された。また、大阪府外で出産した場合でも、大阪府内の住民票所在地での養育医療の申請時におおさかりトルベビーハンドブックを交付できること等を確認した。3回目のワーキングでは各グループでの検討内容の共有、4回目のワーキングでは最終案の共有が行われ、2023年1月におおさかりトルベビーハンドブックが発行された。

2024年現在のおおさかりトルベビーハンドブックの概要と運用について説明する。同ハンドブックは大阪府内のNICUを有する医療機関や市町村の母子保健担当窓口にて配布している。対象は出生体重がおおむね1500g未満のお子さま（2020年1月1日以降に出生）とその保護者である。出生後よりおおむね3歳頃までの成長や医療に関する記録ができ、母子健康手帳と併せて活用する仕様となっている。他の都道府県でのトルベビーハンドブックと同様に、0gからはじまる発育曲線や児の成長を発見した日を記録できる発達の記録、自由に記載できる育児と治療の記録のページが設けられている。NICUでの児の生活や家族の関わりを目安、父親向けのメッセージや保健師の役割に関する情報提供のページを作成したこと等がおおさかりトルベビーハンドブックの特徴である（図1）。おおさかりトルベビーハンドブックの項目は表1をご参照いただきたい。

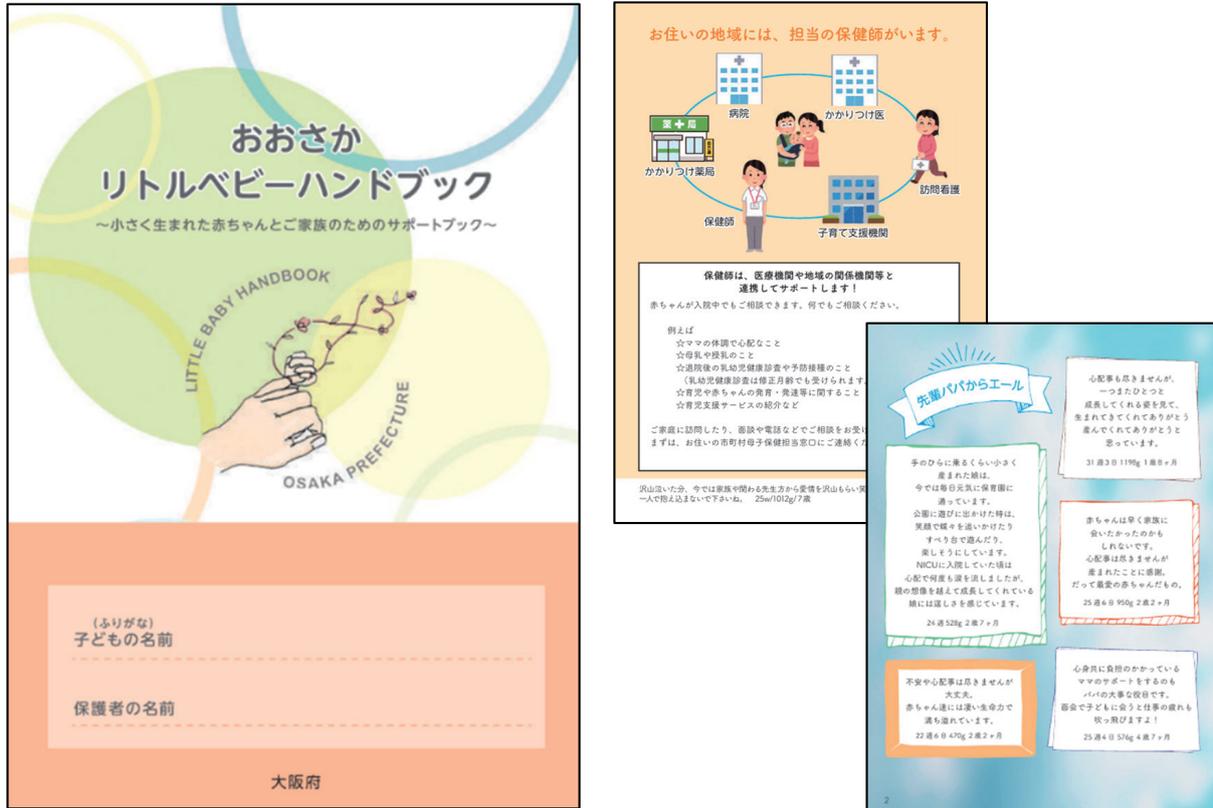


図1. おおさかりトルベビーハンドブックの一部

表1. おおさかりトルベビーハンドブックの項目

ページ	項目
P1	小さな赤ちゃんのママ・パパになったあなたへ
P3	出産後のママの気持ち
P6	生まれたときのようす・NICUでのようす
P8	母乳について
P10	NICUの赤ちゃんの生活とご家族のかかわりのめやす
P12	赤ちゃんにご家族の「初めて…」のきろく
P14	退院時のきろく
P16	育児と治療のきろく
P36	赤ちゃんの成長と発達（修正月齢・発育曲線）
P40	発達のきろく
P44	リトルベビー応援団からのメッセージ
P46	退院時の医療的ケアを必要とするお子様のためのきろく
P47	知っておきたい医療費助成制度
P48	情報コーナー
各ページ下部	先輩ママ、先輩パパのメッセージ

3. 大阪母子医療センターにおける出生体重1500g未満の児とその家族の支援

大阪母子医療センターでは、NICUを有する医療機関としておおさかりトルベビーハンドブックを配布している。大阪府で出生した出生体重1500g未満の児（極低出生体重児）のうち、約2割が当センターで入院している^{5), 6)}。当センターでの極低出生体重児への対応について説明する。

1) 入院中

極低出生体重児の場合、通常はNICUに入院する。出生直後の新生児は胎外生活への適応という課題があり、NICUでは、呼吸、循環、栄養、体温、感染等の超急性期としての管理を第一に実施している。看護師は、超急性期の時期から、「児と家族との出会い」を大切にし、Family-Centered Careに配慮した家族支援に取り組んでいる。その一環として、NICUでは、保護者は児と24時間面会可能（2024年9月末時点）である。また、児が入院した時より、看護師は保護者と一緒に自宅での生活を想像しながら、退院後の生活のために準備を進めていく。一方、保育器管理や医療機器・点滴等を使用した治療のため、NICU入院中は主体的に育児することが難しいと思っている保護者が多い。そのため、看護師は、児の治療状況を見ながら、保護者が実施できるケアについて、伝えるようにしている。特に、保育器管理の有無は、保護者にとって大きく、保育器から出た途端、児との距離感が近くなり、「我が子」と実感する保護者も多い。

おおさかりトルベビーハンドブックは、児の出生後の早い時点で、主にNICUでの受け持ち看護師によって、保護者に配布されている。育児経験のある保護者の中には、保護者自身から通常の母子健康手帳には出生後の様子を記入できないことについて話す者も存在した。また、退院前には、保護者にリトルベビーハンドブックの持参をお願いし、事前に準備した主治医と受け持ち看護師からのメッセージが書かれたシールをリトルベビーハンドブックに貼るという取り組みを行っている。

また、当センターでは、多くの職種が必要な時期にそれぞれ支援を行っている。例えば、心理士は、入院中の心理的な支援として、保護者が児と面会する際に安心して過ごせるように声掛けを実施している。また、保護者自身が必要性に応じて心理士に支援を求めることもできる。医療ソーシャルワーカーは、出産後間もない時点で養育医療等の公費説明の機会を通じて、患者家族の生活状況や不安を聞き取り、院内スタッフと連携して継続した支援を行っている。また、病院保健師は、NICUからの退院が近くなってきた時点で必ず面談を行い、地域保健機関に直近の状況を情報共有している。

このように当センターでは、医療機関で提供できる様々な支援を行っているとはいえ、保護者は不安を抱えながら退院するケースが多い。NICU退院後、出生後から退院まで一緒に歩んできた看護師を頼って、保護者から電話での相談が入ることもあるが、児がお住まいの地域で成長していくことを意識して、お住まいの地区の保健師等に相談するように伝えることもある。地域保健機関において、医療と保健との間で切れ目なく支援を繋ぐため、

引き続き支援をお願いしたい。

2) フォローアップ（発達外来）

当センターでは、開院当初より発達外来を設置し、定期的な外来受診を設定することで児に対して継続的な発達のフォローアップを行っている。2024年9月末時点での発達外来対象児は、A区分：超低出生体重児、B区分：極低出生体重児、F区分：胎児治療施行児、H区分：低体温療法施行児、S区分：外科治療施行児、循環器区分：開胸術施行児・チアノーゼ性疾患児と分類し、区分ごとに必要なフォローアップを設定している。極低出生体重児は、A区分もしくはB区分に該当する（表2）。

表2. 発達外来の対象児

区分	対象
A	超低出生体重児（出生体重1000g未満）
B	極低出生体重児（出生体重1500g未満）
F	胎児治療施行児（双胎間輸血症候群等）
H	低体温療法施行児
S	外科治療施行児（高位鎖肛・総排泄腔遺残・食道閉鎖症・横隔膜ヘルニア等）
循環器	開胸術施行児・チアノーゼ性疾患児

発達外来では、修正4か月から6歳まで、新生児科医の診察、心理士による心理検査（新版K式発達検査）、病院保健師による保健相談を定期的実施している。更に、A区分では、8歳時点での学齢期検診も行っている（表3）。病院保健師は、児の退院直前から6歳までの極低出生体重児の保護者と面談の機会を定期的持ち、養育状況の確認や育児不安等に対応している。

なお、保護者に対する心理検査の結果説明は、簡易な結果が書かれた紙面を渡した上で新生児科医によって行われる。保健センターやその他の関連機関にて対象児が発達面での支援を受けていることを確認した場合等において、病院保健師は保護者に心理検査の結果を関係機関にも共有するように伝えている。地域保健機関が保護者より当院での心理検査の結果を受け取った場合は参考にさせていただき、地域保健機関での支援も引き続きお願いしたい。

表3. 出生体重1500g未満の児の発達外来でのフォローアップ体制

	A 区分（出生体重 1000g 未満）			B 区分（出生体重 1500g 未満）		
	診察	心理	保健師	診察	心理	保健師
修正 4 か月	○	－	－	○	－	－
修正 7 か月	○	○	○	○	－	○
修正 10 か月	○	○	○	○	○	○
修正 1 歳 6 か月	○	○	○	○	○	○
3 歳	○	○	○	○	○	○
4 歳 6 か月	○	○	○	○	－	○
6 歳	○	○	○	○	○	○
8 歳 ^{a)}	○	○	－	－	－	－

a) 学齢期検診。診察、心理検査（WISC 検査）の他にも様々な検査を実施している。

4. リトルベビーハンドブックに関する調査

全国的にリトルベビーハンドブックが普及したが、提供状況や受領者の感想等に関する検討は限られていた。そこで、極低出生体重児の保護者を対象とし、リトルベビーハンドブックの利用状況を明らかにすることを目的とした調査を行った。

1) 方法

当センターにおいて、2023年6月から12月までにNICU等の退院時（以下、退院時面談）、修正7か月以降の発達外来受診時（以下、外来時面談）に病院保健師が面談を実施した極低出生体重児の保護者109名を対象とした。面談記録に記載されたリトルベビーハンドブック利用状況の情報を抽出し、年齢別（0歳、1歳、2歳以上）に分類して単純集計を行った。本調査は、大阪母子医療センター倫理委員会の承認を得て実施された。

なお、病院保健師による退院時面談・外来時面談は、リトルベビーハンドブックの受領状況に関わらず、退院児面談・外来時面談の対象者全数に面談を実施しているため、リトルベビーハンドブックを受領した保護者と受領していない保護者の双方が存在した。また、今回、退院時面談では「2023年1月以前に出生・2023年1月時点で入院中だった児」、
「2023年1月以降に出生し、出生以後入院した児」の保護者、外来時面談では「2023年1月以前に出生・2023年1月時点で既に退院した児」、
「2023年1月以前に出生・2023年1月時点で入院中だった児」の保護者が対象であった（図2）。

本調査での研究成果について、第60回日本周産期・新生児医学会学術集会や第83回日本公衆衛生学会総会にて報告した^{7), 8)}。

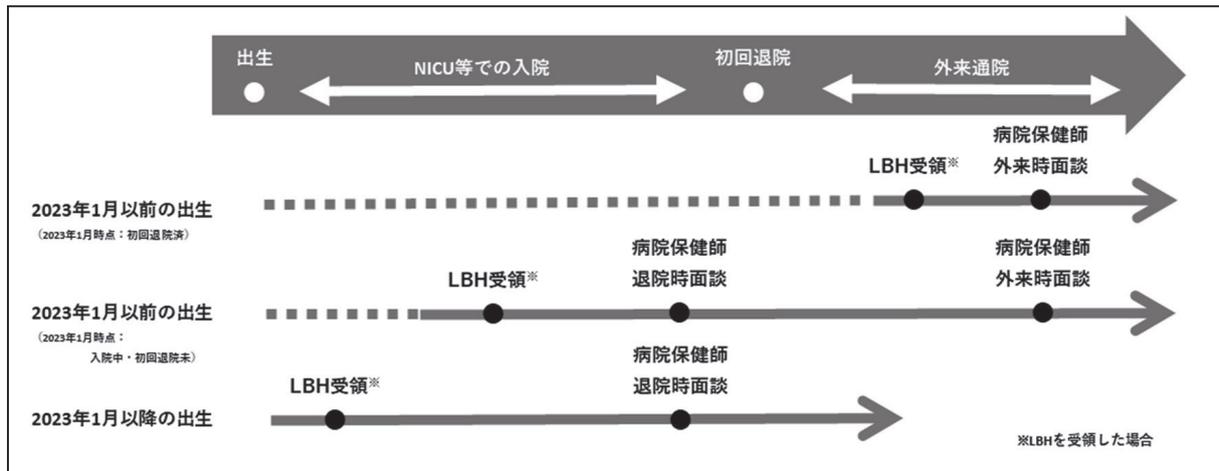


図2. 出生時期別のリトルベビーハンドブックの受領・病院保健師との面談時期のタイミング

2) 結果

① 児の年齢別にみた保護者の属性

児の年齢別にみた保護者の属性について、表4に示した。0歳の群では保護者42名（児50名）、1歳の群では保護者37名（児42名）、2歳以上の群では保護者30名（児33名）であった。面談種別では、0歳の群は退院時面談、外来時面談が半数ずつを占めていたが、1歳以上の群では外来時面談のみであった。児の出生体重の中央値は1000g前後、約2割の児が多胎に該当していた（表4）。

表4. 児の年齢別別にみた保護者の属性（n=109）

	児の年齢		
	0歳	1歳	2歳以上
総数	42	37	30
面談内訳（％）			
退院時面談	50.0	0	0
外来時面談	50.0	100	100
児の出生体重（g） ^{a)}	939	1006	1004
多胎（％）	26.2	21.6	23.3

a) 中央値

② リトルベビーハンドブックの認知度

児の年齢別にみた、保護者のリトルベビーハンドブックの認知度について、図3に示した。リトルベビーハンドブックについて知っていた保護者は、0歳の群で85.7%、1歳の群で46.0%、2歳以上の群で26.7%であり、統計的に有意な差を認めた。（ $p < 0.01$ ）

0歳の群において、リトルベビーハンドブックを知らなかった保護者の中には、リトルベビーハンドブックの発行前に児が出生・退院した場合が含まれていた。1歳以上の群では出生・退院の時点でリトルベビーハンドブックが存在しておらず、その後も知る機会が無かったため、認知度も低かったと考えられる。

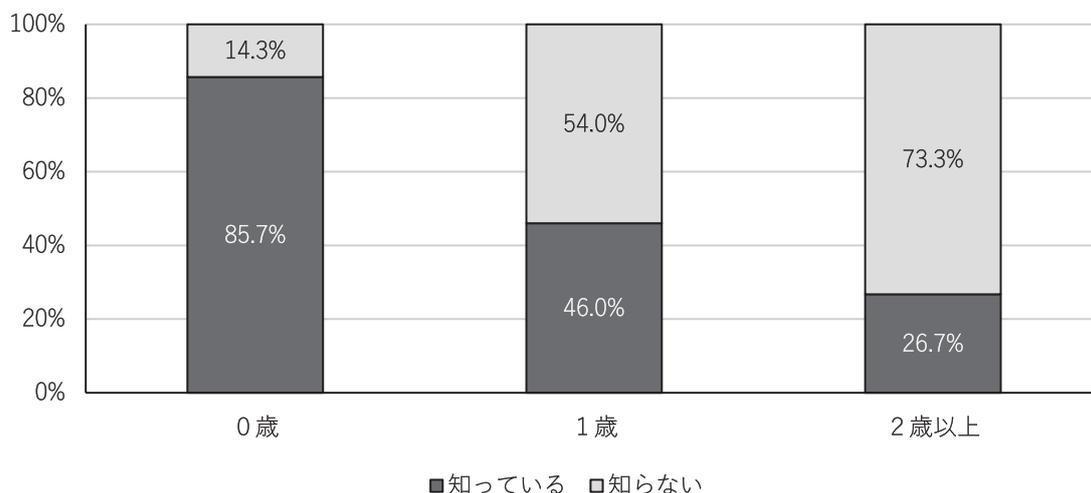


図3. 児の年齢別にみたリトルベビーハンドブックの認知度 (n=109)

③ リトルベビーハンドブックの受領状況

児の年齢別にみた、保護者のリトルベビーハンドブックの受領状況を、図4に示した。リトルベビーハンドブックを受領した保護者は、0歳の群で83.3%、1歳の群で32.4%、2歳以上の群で10.0%であり、統計的に有意な差を認めた。(p<0.01)

2歳以上の群と比較して、1歳の群にてリトルベビーハンドブックを受領している保護者が比較的多い理由として、地域保健機関が1歳6か月児健康診査の機会に対象となる保護者に配布したことが考えられ、実際に1歳6か月児健康診査の際に受け取った保護者も見受けられた。

また、0歳の群では、リトルベビーハンドブックの認知度(図3)と受領状況(図4)の割合に大きな差異はないものの、1歳以上の群では差異が見られた。児の年齢が大きくなるにつれて、リトルベビーハンドブックを知っているものの、受領しなかった保護者が存在した。

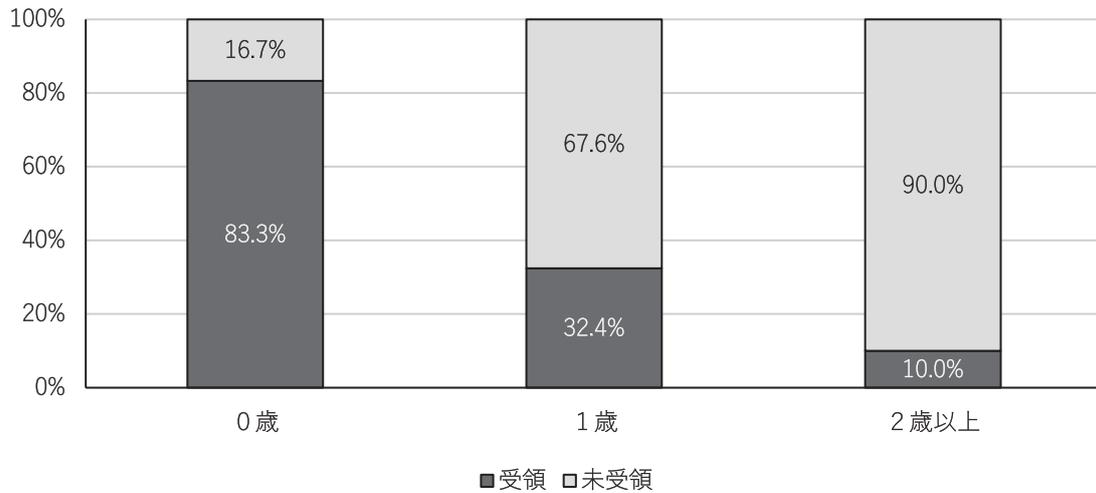


図4. 児の年齢別のリトルベビーハンドブックの受領状況 (n=109)

④ リトルベビーハンドブックの提供元

図5では、リトルベビーハンドブックを受領した保護者を対象として、児の年齢別にリトルベビーハンドブックの提供元を割合として示した。0歳の群では85.7%の保護者は医療機関、11.4%の保護者は地域保健機関にて受領していた。一方、1歳の群では地域保健機関にて受領した保護者が大半を占め、2歳以上の群では地域保健機関にて受領していた。これらは統計的にも有意な差を認めた。(p<0.01)

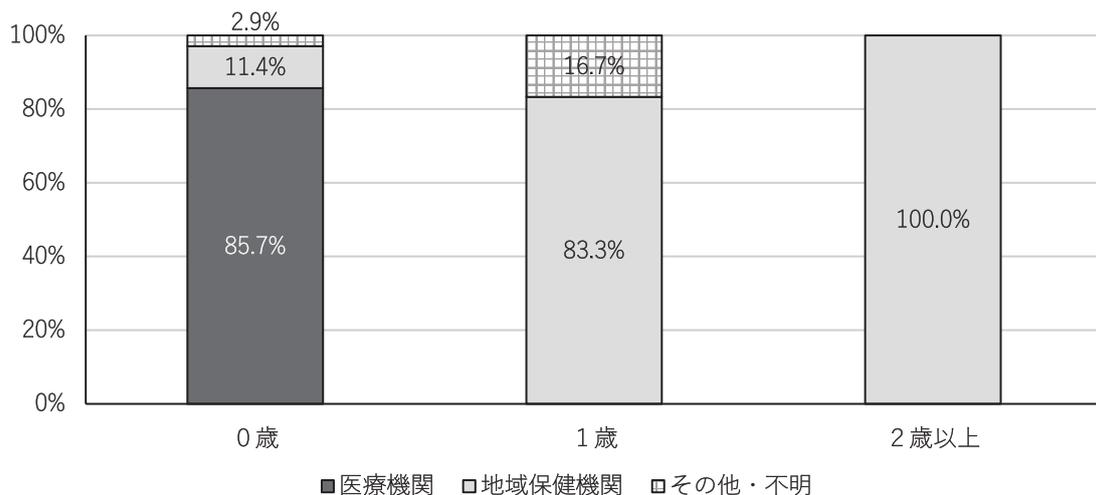


図5. リトルベビーハンドブック受領者における児の年齢別の提供元 (n=50)

⑤ リトルベビーハンドブックの利用状況

図6では、リトルベビーハンドブックを受領した保護者の利用状況を児の年齢別に示し

た。0歳の群では88.6%の保護者、1歳の群では91.7%の保護者、2歳以上の群では100%の保護者が利用していた。これらは統計的に有意な差を認めなかった。(p=0.30)

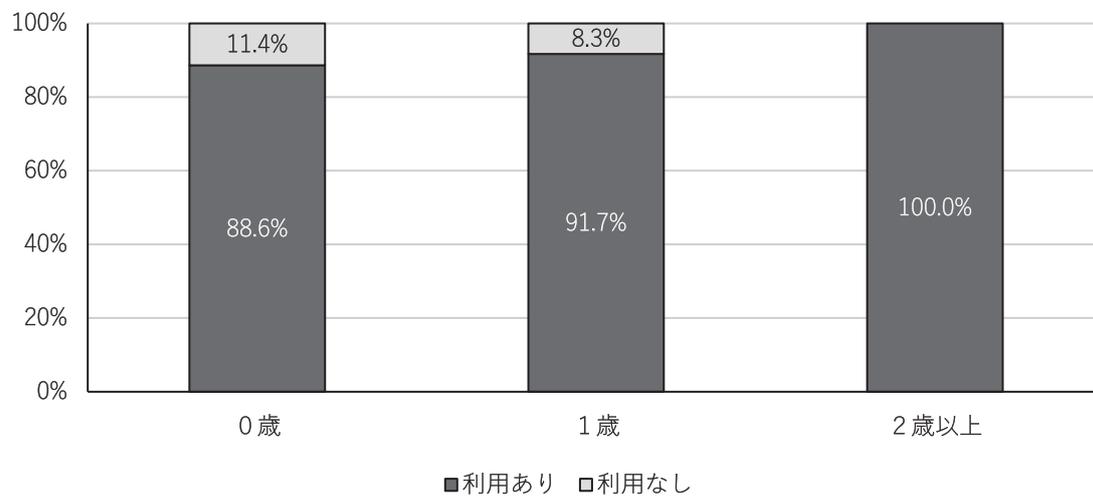


図6. リトルベビーハンドブック受領者における児の年齢別の利用状況 (n=50)

また、出生体重(1000g未満、1000g以上)で分類したリトルベビーハンドブックの利用状況を図7に示した。1000g未満の群では92.9%の保護者、1000以上の群では86.4%の保護者が利用していた。これらも統計的に有意な差は認められなかった。(p=0.64)

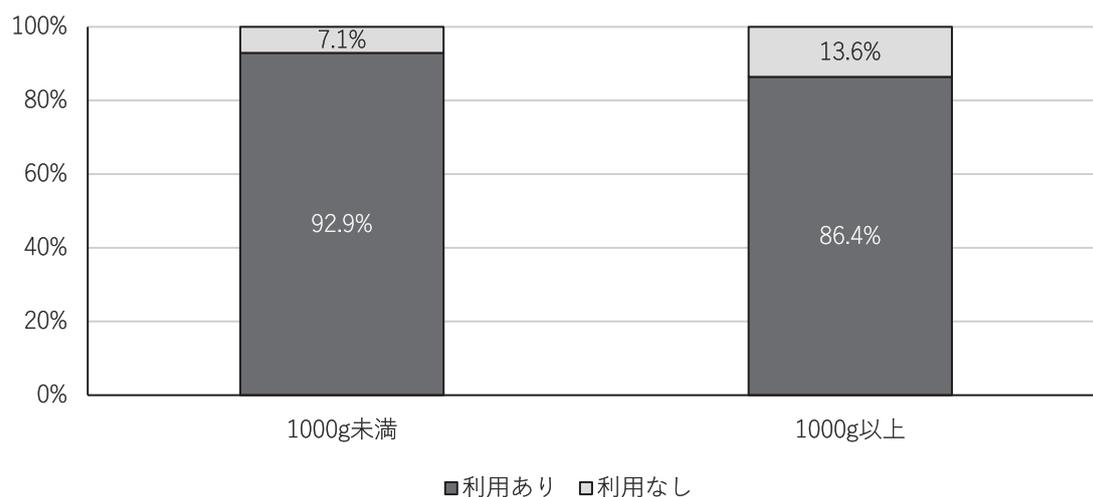


図7. リトルベビーハンドブック受領者における児の出生体重別の利用状況 (n=50)

リトルベビーハンドブックの受領状況(図4)に関しては、0歳、1歳、2歳以上の群にて統計的に有意な差があり、0歳の群において受領した割合が最も高く、2歳以上の群において、最も低かった。一方、リトルベビーハンドブックを受領した保護者を対象とし、

児の年齢別や児の出生体重別にリトルベビーハンドブック利用状況（図6、図7）について検討した結果、統計的に有意な差は得られなかった。児の年齢や体重に関わらず、リトルベビーハンドブックを受領した保護者は積極的に利用していたこと、リトルベビーハンドブックが対象者のニーズに合うコンテンツになっていたことが考えられる。

⑥ リトルベビーハンドブックを受領した保護者のコメント

リトルベビーハンドブックに関する保護者のコメントが病院保健師の面談記録に残っていた場合、コメントの内容を確認した。その結果、0歳の群では【同じ境遇の保護者からのメッセージに勇気付けられた】、1歳以上の群では【出生時に貰いたかった】、【他の媒体に今までの記録を書いている】等のコメントが多く見受けられた。

今回、0歳の群では児の出生直後にリトルベビーハンドブックを受領した保護者が大半であった。出生直後にリトルベビーハンドブックを受領できたからこそ、【同じ境遇の保護者からのメッセージに勇気付けられた】とのコメントに繋がったと考えられる。その一方、1歳以上の群では、児が比較的成長した時点でリトルベビーハンドブックを受領した保護者であったため、【出生時に貰いたかった】、【他の媒体に今までの記録を書いている】とのコメントが挙がったと考えられる。今後、極低出生体重児の保護者は、大阪府内外の出産に関わらず、リトルベビーハンドブックを受領することができる中、児の出生後、間もない時点で、医療機関や地域保健機関にてリトルベビーハンドブックを受領できる体制を維持することの重要性が示唆された。

3) 調査のまとめ

今回、大阪府内でのリトルベビーハンドブックの提供開始より6か月から1年が経過したタイミングでの検討であった。今回の検討により、リトルベビーハンドブックの認知度や受領状況は児の年齢ごとに差はあるものの、受領した保護者は児の年齢や出生体重に関わらず、積極的に利用していたことが明らかとなった。また、出生後早い時点でリトルベビーハンドブックを配布することでより積極的な利用に繋がる可能性があることも見出された。今後、2023年1月以降に出生した児が成長する中で、リトルベビーハンドブックの存在はより大きくなっていくだろう。

参考文献

- 1) 渡邊洋子. 令和3年厚生労働科学研究費補助金「母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と切れ目のない母子保健サービスに係る研究」研究報告書, 2022
- 2) Singer LT, et al. Maternal psychological distress and parenting stress after the birth of a very low-birth-weight infant. JAMA. 1999;281:799-805
- 3) Vigod SN, et al. Prevalence and risk factors for postpartum depression among women with preterm and low-birth-weight infants: a systematic review. BJOG. 2010;117:540-50.

- 4) 特定非営利活動法人 HANDS. 各自治体のLBハンドブック (<https://www.hands.or.jp/activity/lbh2023/>) 2024.7.31
- 5) 大阪府. 令和4年人口動態調査. (<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100010/kenisomu/syuyoufukusidate/jinkou1.html>) 2024.9.30
- 6) 大阪母子医療センター. 年報第41号. (<https://www.wch.opho.jp/center/activities/nenpo.html>) 2024.9.30
- 7) 谷川果菜美, 馬場幸子, 総合周産期母子医療センター1施設におけるリトルベビーハンドブックの利用状況に関する報告, 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会, 大阪, 2024年7月
- 8) 谷川果菜美, 馬場幸子, 出生体重別に見たリトルベビーハンドブックの利用状況に関する後方視的検討, 第83回日本公衆衛生学会総会, 北海道, 2024年10月

(文責：谷川果菜美・馬場幸子)

3 大阪府の母子保健指標

本章では、出生、乳児死亡など、人口動態統計のうち母子保健水準に関連した指標と、妊娠届出や乳幼児健診受診状況などの母子保健事業に関連した指標について、市町村別に表としてまとめた。また、成育医療等基本方針に基づく評価指標について、低出生体重児を例に概説した。市町村における母子保健事業の現状把握・評価、そして取組の検討の際にお役立ていただきたい。

なお、①出典資料ごとに報告単位が年次・年度と異なること、②人口動態統計を用いた表1、2では、令和5年分のデータは未発表のため、令和4年分のデータを報告対象としていること、③政令指定都市・中核市は対象外となっている統計資料があること、④表中の「大阪府」は大阪府全体での平均、ただし「平均」は大阪府下の政令指定都市・中核市以外の値をもとに算出していることにご留意いただきたい。

なお、一部の表における統計量において、上位値5位までを太字、下位値5位までを網掛けで表示した。

1. 市町村別人口動態統計（抜粋）（令和4年）

表1-1に総人口・出生・低出生体重児に関する統計量を市町村別に示した。大阪府全体では、総人口は8,787,414人（前年8,807,279人；0.2%減）、出生数は57,315人（前年59,780人；4.1%減）であった。出生率（人口千対）は6.5で（前年の6.8より0.3ポイント減）最も高い摂津市で8.1、低い豊能町で2.4と幅があった。低出生体重児は5,113人（8.9%）（前年5,304人 [8.9%；増減なし]）であった。表1-2として、市町村別母の年齢群別出生数を示した。大阪府全体では、出生のうち、20歳未満の母からの出生は403人（0.7%）、うち14歳の母からの出生は2人であった。35歳以上の母からの出生は16,508人（28.8%）であった。日本全体¹⁾における低出生体重児の割合・20歳未満の母からの出生の割合・35歳以上の母からの出生の割合はそれぞれ9.4%・0.6%・30.0%であり、全国平均よりもそれぞれ0.5%低値・0.1%高値・1.2%低値であった。

表2に乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡・死産に関する統計量を市町村別に示した。乳児死亡とは「生後1年未満の死亡」、新生児死亡とは「生後4週未満の死亡」、周産期死亡とは「妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの」、死産とは「妊娠12週以後の死児の出産」、人工死産とは「胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置を加えたことにより死産に至った場合」、自然死産に関しては「人工死産以外はすべて自然死産とする」と定義されている¹⁾。大阪府では、乳児死亡率（出生千対）1.7（前年1.5）、新生児死亡率（出生千対）0.8（前年0.7）、周産期死亡率（出産千対）3.4（前年3.3）、死産率（出産千対）18.9（前年19.3）であり、全国と大きく相違は無かった。[全国¹⁾：乳児死亡率（出生千対）1.8、新生児死亡率（出生千対）0.8、周産期死亡率（出産千対）3.3、死産率（出産千対）19.3]

表1-1. 大阪府の市町村別総人口・出生・低出生体重児（令和4年）

市町村	総人口（人）	出生		低出生体重児	
		実数	人口千対率	実数	割合
池田市	104,717	682	6.5	81	11.9%
豊能町	17,745	39	2.2	3	7.7%
箕面市	137,315	837	6.1	79	9.4%
能勢町	8,670	21	2.4	3	14.3%
摂津市	87,143	709	8.1	58	8.2%
茨木市	289,030	2,228	7.7	181	8.1%
島本町	30,802	226	7.3	28	12.4%
守口市	141,563	1,043	7.4	92	8.8%
門真市	117,221	616	5.3	69	11.2%
四條畷市	54,493	326	6.0	45	13.8%
交野市	74,809	491	6.6	35	7.1%
大東市	117,237	708	6.0	62	8.8%
柏原市	67,684	361	5.3	37	10.2%
松原市	115,728	688	5.9	73	10.6%
羽曳野市	107,557	638	5.9	58	9.1%
藤井寺市	62,893	390	6.2	40	10.3%
大阪狭山市	58,023	402	6.9	25	6.2%
富田林市	106,973	600	5.6	45	7.5%
河内長野市	98,932	475	4.8	35	7.4%
河南町	15,335	47	3.1	2	4.3%
太子町	12,704	63	5.0	4	6.3%
千早赤阪村	4,716	18	3.8	3	16.7%
和泉市	183,148	1,124	6.1	97	8.6%
泉大津市	73,375	471	6.4	35	7.4%
高石市	55,126	400	7.3	32	8.0%
忠岡町	16,332	86	5.3	11	12.8%
岸和田市	187,283	1,219	6.5	84	6.9%
貝塚市	82,395	485	5.9	37	7.6%
泉佐野市	98,916	591	6.0	51	8.6%
熊取町	43,379	271	6.2	24	8.9%
田尻町	8,207	57	6.9	7	12.3%
泉南市	58,717	374	6.4	35	9.4%
阪南市	49,667	230	4.6	18	7.8%
岬町	14,277	44	3.1	4	9.1%
大阪市	2,756,807	18,399	6.7	1,682	9.1%
堺市	816,559	5,350	6.6	487	9.1%
高槻市	350,222	2,258	6.4	203	9.0%
東大阪市	487,999	2,894	5.9	253	8.7%
豊中市	399,790	3,022	7.6	283	9.4%
枚方市	394,320	2,367	6.0	173	7.3%
八尾市	261,584	1,711	6.5	143	8.4%
寝屋川市	226,952	1,396	6.2	123	8.8%
吹田市	391,069	2,958	7.6	270	9.1%
大阪府	8,787,414	57,315	6.5	5,113	8.9%

出典：令和4年大阪府人口動態調査

注1）人口は「大阪府の推計人口」（大阪府総務部統計課）によるものである。

注2）諸率算出に用いた人口は、大阪府総数については、「日本人人口（8,782,000人総務省統計局推計）、市町村については、「大阪府の推計人口」（大阪府総務部統計課）によるものである。

太字は高値（5位まで）、網掛けは低値（5位まで）を示す

表1-2. 大阪府の市町村別 母の年齢群別 出生数（令和4年）

市町村	総数	出生数								総数に対する割合	
		20歳未満	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45歳以上	(再掲35歳以上)	20歳未満の占める割合	35歳以上の占める割合
池田市	682	2	38	189	251	162	39	1	202	0.3%	29.6%
豊能町	39	1	3	11	12	10	1	1	12	2.6%	30.8%
箕面市	837	1	28	161	327	256	62	2	320	0.1%	38.2%
能勢町	21	0	1	7	5	5	3	0	8	0.0%	38.1%
摂津市	709	5	47	191	273	152	39	2	193	0.7%	27.2%
茨木市	2,228	11	107	593	879	523	111	4	638	0.5%	28.6%
島本町	226	0	9	41	107	61	7	1	69	0.0%	30.5%
守口市	1,043	7	84	336	384	176	56	0	232	0.7%	22.2%
門真市	616	9	75	206	193	111	20	2	133	1.5%	21.6%
四條畷市	326	1	29	90	114	81	11	0	92	0.3%	28.2%
交野市	491	1	30	120	194	117	27	2	146	0.2%	29.7%
大東市	708	7	80	227	242	120	32	0	152	1.0%	21.5%
柏原市	361	2	23	105	123	91	16	1	108	0.6%	29.9%
松原市	688	8	85	217	226	118	32	2	152	1.2%	22.1%
羽曳野市	638	6	67	210	195	119	39	2	160	0.9%	25.1%
藤井寺市	390	2	39	107	120	90	30	2	122	0.5%	31.3%
大阪狭山市	402	0	26	89	166	95	26	0	121	0.0%	30.1%
富田林市	600	6	68	161	200	142	22	1	165	1.0%	27.5%
河内長野市	475	5	42	117	172	112	27	0	139	1.1%	29.3%
河南町	47	0	1	10	17	16	3	0	19	0.0%	40.4%
太子町	63	0	7	16	21	14	5	0	19	0.0%	30.2%
千早赤阪村	18	1	0	6	3	6	2	0	8	5.6%	44.4%
和泉市	1,124	20	109	305	388	237	64	1	302	1.8%	26.9%
泉大津市	471	3	36	144	167	99	22	0	121	0.6%	25.7%
高石市	400	3	30	120	157	76	14	0	90	0.8%	22.5%
忠岡町	86	0	13	31	26	11	5	0	16	0.0%	18.6%
岸和田市	1,219	17	168	392	362	216	63	1	280	1.4%	23.0%
貝塚市	485	8	44	138	179	89	27	0	116	1.6%	23.9%
泉佐野市	591	4	75	160	189	133	29	1	163	0.7%	27.6%
熊取町	271	1	11	72	105	65	17	0	82	0.4%	30.3%
田尻町	57	1	3	19	22	10	2	0	12	1.8%	21.1%
泉南市	374	3	34	112	135	76	14	0	90	0.8%	24.1%
阪南市	230	7	20	68	67	54	13	1	68	3.0%	29.6%
岬町	44	0	8	13	16	5	2	0	7	0.0%	15.9%
大阪市	18,399	115	1,234	4,749	6,601	4,503	1,153	44	5,700	0.6%	31.0%
堺市	5,350	45	402	1,511	1,934	1,174	273	11	1,458	0.8%	27.3%
高槻市	2,258	8	126	602	841	560	112	9	681	0.4%	30.2%
東大阪市	2,894	32	286	833	981	599	154	9	762	1.1%	26.3%
豊中市	3,022	12	120	749	1,178	764	194	5	963	0.4%	31.9%
枚方市	2,367	13	145	616	931	533	125	4	662	0.5%	28.0%
八尾市	1,711	14	165	486	576	379	91	0	470	0.8%	27.5%
寝屋川市	1,396	12	128	421	468	288	76	3	367	0.9%	26.3%
吹田市	2,958	10	96	704	1,257	720	165	6	891	0.3%	30.1%
大阪府	57,315	403	4,142	15,455	20,804	13,168	3,225	115	16,508	0.7%	28.8%

出典：令和4年大阪府人口動態調査
 太字は高値（5位まで）、網掛けは低値（5位まで）を示す

表2. 大阪府の市町村別乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡・死産（令和4年）

市町村	総人口 (人)	乳児死亡		新生児死亡		周産期死亡						死産					
		実数	出生千 対率	実数	出生千 対率	総 数		妊娠満22週 以後の死産		早期新生児 死亡		総 数		自然死産		人工死産	
						実数	出産千 対率	実数	出産千 対率	実数	出生千 対率	実数	出産千 対率	実数	出産千 対率	実数	出産千 対率
池田市	104,717	2	2.9	1	1.5	3	4.4	3	4.4	0	0.0	20	28.5	11	15.7	9	12.8
豊能町	17,745	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0
箕面市	137,315	2	2.4	2	2.4	3	3.6	1	1.2	2	2.4	15	17.6	10	11.7	5	5.9
能勢町	8,670	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	45.5	1	45.5	0	0.0
摂津市	87,143	0	0.0	0	0.0	2	2.8	2	2.8	0	0.0	11	15.3	5	6.9	6	8.3
茨木市	289,030	4	1.8	0	0.0	6	2.7	6	2.7	0	0.0	37	16.3	21	9.3	16	7.1
島本町	30,802	0	0.0	0	0.0	2	8.8	2	8.8	0	0.0	10	42.4	6	25.4	4	16.9
守口市	141,563	1	1.0	1	1.0	3	2.9	2	1.9	1	1.0	11	10.4	5	4.7	6	5.7
門真市	117,221	1	1.6	1	1.6	2	3.2	1	1.6	1	1.6	10	16.0	4	6.4	6	9.6
四條畷市	54,493	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	12.1	1	3.0	3	9.1
交野市	74,809	0	0.0	0	0.0	4	8.1	4	8.1	0	0.0	10	20.0	6	12.0	4	8.0
大東市	117,237	1	1.4	1	1.4	6	8.4	5	7.0	1	1.4	20	27.5	8	11.0	12	16.5
柏原市	67,684	2	5.5	2	5.5	1	2.8	0	0.0	1	2.8	7	19.0	3	8.2	4	10.9
松原市	115,728	1	1.5	0	0.0	2	2.9	2	2.9	0	0.0	12	17.1	7	10.0	5	7.1
羽曳野市	107,557	2	3.1	0	0.0	3	4.7	3	4.7	0	0.0	6	9.3	4	6.2	2	3.1
藤井寺市	62,893	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	15.2	3	7.6	3	7.6
大阪狭山市	58,023	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	9.9	3	7.4	1	2.5
富田林市	106,973	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	16.4	4	6.6	6	9.8
河内長野市	98,932	0	0.0	0	0.0	1	2.1	1	2.1	0	0.0	12	24.6	5	10.3	7	14.4
河南町	15,335	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
太子町	12,704	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
千早赤阪村	4,716	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
和泉市	183,148	2	1.8	1	0.9	2	1.8	2	1.8	0	0.0	21	18.3	5	4.4	16	14.0
泉大津市	73,375	0	0.0	0	0.0	1	2.1	1	2.1	0	0.0	12	24.8	6	12.4	6	12.4
高石市	55,126	4	10.0	1	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	12.3	2	4.9	3	7.4
忠岡町	16,332	0	0.0	0	0.0	1	11.5	1	11.5	0	0.0	1	11.5	1	11.5	0	0.0
岸和田市	187,283	1	0.8	0	0.0	4	3.3	4	3.3	0	0.0	21	16.9	9	7.3	12	9.7
貝塚市	82,395	1	2.1	0	0.0	2	4.1	2	4.1	0	0.0	8	16.2	4	8.1	4	8.1
泉佐野市	98,916	2	3.4	1	1.7	2	3.4	1	1.7	1	1.7	11	18.3	7	11.6	4	6.6
熊取町	43,379	0	0.0	0	0.0	1	3.7	1	3.7	0	0.0	3	10.9	2	7.3	1	3.6
田尻町	8,207	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泉南市	58,717	0	0.0	0	0.0	1	2.7	1	2.7	0	0.0	9	23.5	5	13.1	4	10.4
阪南市	49,667	0	0.0	0	0.0	1	4.3	1	4.3	0	0.0	2	8.6	2	8.6	0	0.0
岬町	14,277	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	22.2	0	0.0	1	22.2
大阪市	2,756,807	32	1.7	16	0.9	75	4.1	60	3.3	15	0.8	396	21.1	161	8.6	235	12.5
堺市	816,559	5	0.9	3	0.6	20	3.7	17	3.2	3	0.6	95	17.4	40	7.3	55	10.1
高槻市	350,222	9	4.0	2	0.9	5	2.2	4	1.8	1	0.4	37	16.1	21	9.2	16	7.0
東大阪市	487,999	4	1.4	0	0.0	10	3.4	10	3.4	0	0.0	76	25.6	26	8.8	50	16.8
豊中市	399,790	7	2.3	4	1.3	8	2.6	5	1.7	3	1.0	50	16.3	21	6.8	29	9.4
枚方市	394,320	4	1.7	2	0.8	9	3.8	7	2.9	2	0.8	45	18.7	20	8.3	25	10.4
八尾市	261,584	3	1.8	0	0.0	3	1.8	3	1.8	0	0.0	27	15.5	14	8.1	13	7.5
寝屋川市	226,952	1	0.7	1	0.7	5	3.6	4	2.9	1	0.7	33	23.1	17	11.9	16	11.2
吹田市	391,069	8	2.7	5	1.7	10	3.4	6	2.0	4	1.4	43	14.3	23	7.7	20	6.7
大阪府	8,787,414	100	1.7	44	0.8	198	3.4	162	2.8	36	0.6	1,103	18.9	493	8.4	610	10.4

出典：令和4年大阪府人口動態調査

2. 市町村別母子保健指標（抜粋）（令和5年度）

表3に妊娠届出及び乳幼児健康診査受診状況に関する指標を市町村別（政令指定都市・中核市を除く）に示した。大阪府（政令指定都市・中核市を除く）では、満11週以内の妊娠届出95.5%（前年95.4%）、4か月健診受診率97.6%（前年97.9%）、1歳6か月児健康診査受診率97.1%（前年97.6%）、3歳児健康診査受診率94.9%（前年95.5%）であった。令和5年度の大阪府の妊娠届出及び乳幼児健康診査受診状況は令和4年度全国平均と同程度を維持していた。[令和4年度全国²⁾：満11週以内の妊娠届出94.4%、4か月健診受診率96.1%、1歳6か月児健康診査受診率96.3%、3歳児健康診査受診率95.7%]

表3. 大阪府の市町村(政令指定都市・中核市除く)別 妊娠届出及び乳幼児健康診査受診状況(令和5年度)

	妊娠届出			4か月児健康診査			1歳6か月児健康診査			3歳児健康診査		
	総数	満11週以内		対象人員	受診実人員	受診率	対象人員	受診実人員	受診率	対象人員	受診実人員	受診率
		実数	割合									
池田市	688	669	97.2%	663	652	98.3%	749	742	99.1%	757	740	97.8%
箕面市	805	783	97.3%	836	822	98.3%	970	935	96.4%	1,188	1,125	94.7%
豊能町	44	43	97.7%	30	33	110.0%	59	59	100.0%	60	56	93.3%
能勢町	18	18	100.0%	16	17	106.3%	21	22	104.8%	31	31	100.0%
茨木市	2,267	2,185	96.4%	2,230	2,191	98.3%	2,389	2,324	97.3%	2,395	2,260	94.4%
摂津市	760	717	94.3%	658	649	98.6%	742	720	97.0%	728	704	96.7%
島本町	229	225	98.3%	196	190	96.9%	241	240	99.6%	299	295	98.7%
守口市	1,030	983	95.4%	973	953	97.9%	1,140	1,087	95.4%	1,135	1,048	92.3%
大東市	687	651	94.8%	723	701	97.0%	772	731	94.7%	789	761	96.5%
門真市	718	688	95.8%	618	546	88.3%	663	597	90.0%	664	605	91.1%
四條畷市	323	307	95.0%	349	342	98.0%	369	361	97.8%	414	397	95.9%
交野市	475	455	95.8%	471	466	98.9%	554	545	98.4%	603	575	95.4%
柏原市	401	384	95.8%	394	390	99.0%	404	393	97.3%	440	416	94.5%
富田林市	531	504	94.9%	582	567	97.4%	636	611	96.1%	709	690	97.3%
河内長野市	388	373	96.1%	425	418	98.4%	480	465	96.9%	582	560	96.2%
松原市	745	713	95.7%	695	686	98.7%	720	698	96.9%	813	739	90.9%
羽曳野市	617	599	97.1%	632	619	97.9%	675	657	97.3%	758	722	95.3%
藤井寺市	362	336	92.8%	374	371	99.2%	382	379	99.2%	396	372	93.9%
大阪狭山市	343	339	98.8%	426	417	97.9%	462	452	97.8%	526	506	96.2%
太子町	53	51	96.2%	65	65	100.0%	77	77	100.0%	88	87	98.9%
河南町	49	49	100.0%	49	48	98.0%	83	82	98.8%	101	99	98.0%
千早赤阪村	14	13	92.9%	10	10	100.0%	22	21	95.5%	15	15	100.0%
岸和田市	1,210	1,130	93.4%	1,170	1,125	96.2%	1,282	1,251	97.6%	1,358	1,222	90.0%
泉大津市	521	497	95.4%	555	543	97.8%	522	510	97.7%	551	524	95.1%
貝塚市	439	418	95.2%	402	388	96.5%	515	497	96.5%	511	496	97.1%
泉佐野市	641	615	95.9%	623	610	97.9%	603	607	100.7%	674	654	97.0%
和泉市	1,144	1,067	93.3%	1,097	1,059	96.5%	1,266	1,224	96.7%	1,444	1,372	95.0%
高石市	352	337	95.7%	382	381	99.7%	425	417	98.1%	473	459	97.0%
泉南市	340	322	94.7%	371	361	97.3%	380	368	96.8%	405	386	95.3%
阪南市	174	165	94.8%	213	209	98.1%	237	234	98.7%	265	255	96.2%
忠岡町	97	93	95.9%	93	93	100.0%	100	101	101.0%	121	124	102.5%
熊取町	207	195	94.2%	247	249	100.8%	272	270	99.3%	335	333	99.4%
田尻町	63	63	100.0%	48	48	100.0%	55	56	101.8%	73	70	95.9%
岬町	41	40	97.6%	52	51	98.1%	53	54	101.9%	61	60	98.4%
平均	16,776	16,027	95.5%	16,668	16,270	97.6%	18,320	17,787	97.1%	19,762	18,758	94.9%

出典：令和5年度大阪府母子保健業務報告

注：令和4年度の乳幼児健康診査対象児が令和5年度に受診した場合、令和5年度の対人員には含めないが、令和5年度の実人員には含めるため、受診率が100%を超えることがある

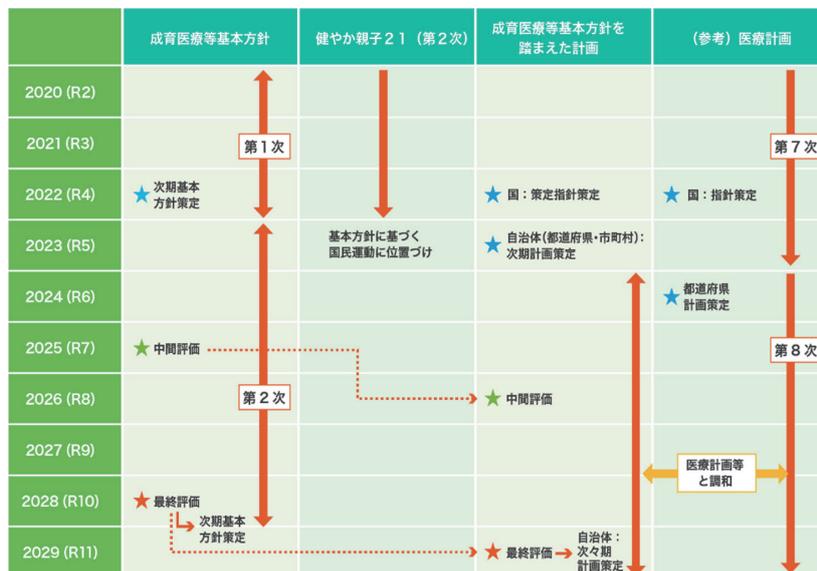
太字は高値（5位まで）、網掛けは低値（5位まで）を示す

3. 解説：成育医療等基本方針に基づく評価指標～低出生体重児を例に

●健やか親子21と成育医療等基本方針に基づく評価指標

令和5年3月に「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」（成育医療等基本方針）が閣議決定された。

「健やか親子21」は平成13年度から第1次が、平成27年度から第2次が展開されてきたが、令和5年度以降は基本方針に基づく国民運動に位置づけられることになった（右図参照）。



（子ども家庭庁：健やか親子21ウェブサイト³⁾より）

また、成育医療等基本方針において、施策の実施状況等を客観的に検討・評価し、必要な見直しにつなげるPDCAサイクルに基づく取組を適切に実施するための評価指標が策定された。

評価指標は、対象とするライフステージによって、周産期、乳幼児期、学童期・思春期、全成育期と5つに分類されている。「周産期」では、5つの課題（妊産婦の保健・医療提供体制、産後うつ、低出生体重児、妊産婦の口腔、流産・死産）が設定されている（右図参照）。



（子ども家庭庁：健やか親子21ウェブサイト³⁾より）

たとえば、課題「低出生体重児」では、アウトカム（健康行動）として、20-30代女性の痩身の割合・妊婦・パートナーの喫煙率、アウトカム（健康水準）として、全出生数中の低出生体重児の割合があげられている。

●アウトプット・アウトカム（健康行動）・アウトカム（健康水準）とは何か？^{4),5)}

「アウトプット」「アウトカム」という用語は、「ロジックモデル」というツールにおいて使用される。

「ロジックモデル」は、主に国際協力の分野で使われてきたPDCAサイクルのツールである。近年、医療政策の分野において、施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したものとして、取り入れられるようになった。

「成育医療方針における目標達成のためのロジックモデル」では、「アウトプット→アウトカム（健康行動）→アウトカム（健康水準）」が置かれている。アウトプットは、結果のことであり、施策や活動の主体に起きることである。アウトカムは、成果のことであり、活動が働きかけた対象の側に起きる変化を指す。

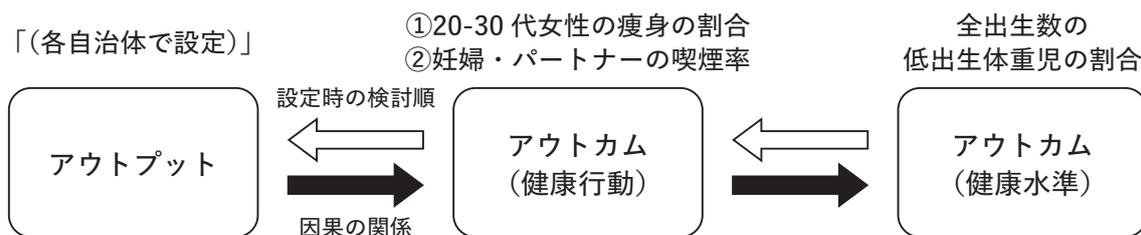
各課題について、下記項目の全てまたは一部を設定し、評価指標とする必要がある。アウトカムには、健康行動、と健康水準の二種類があることに留意する必要がある。

アウトプット：環境整備や取組。各自治体の事業の目標

アウトカム（健康行動）：住民の行動変容が必要と思われる課題を見るのに適切な指標

アウトカム（健康水準）：住民の健康状態や地域の課題を示すのに適切な指標

●例) 低出生体重児におけるロジックモデル



低出生体重児におけるロジックモデルを例に図示した。全出生低体重児の割合を減少させるため、①②の減少させる取組が必要であり、その具体的な取組（活動）が各自治体が設定すべきアウトプットである。因果の関係としては、左から右に進むので、アウトプットの実施によりアウトカム（健康行動）が改善し、最終的にはアウトカム（健康水準）が改善する、となる。

●低出生体重児が課題としてとりあげられた背景

前述の成育医療等基本方針⁶⁾では、下記のように説明されている。

「我が国の乳幼児死亡率は世界的に低い水準にある一方、全出生数中の低出生体重児の割合は、長期的に増加傾向にあったが、この15年程度は横ばい傾向*にある。全出生数中の低出生体重児の割合が増加する要因としては、医学の進歩（早産児の割合の増加）、多胎児妊娠、妊娠前の母親の痩せ（低栄養状態）、妊娠中の体重増加抑制、歯周病、喫煙、飲酒等の因子が報告されており、引き続き、全出生数中の低出生体重児の割合の減少に向けて、要因の軽減に向けた取組が必要である。

*令和3（2021）年人口動態統計（確定数）によると、全出生数中の出生時体重2,500 g未満の児の割合は、昭和55（1980）年5.2%、平成2（1990）年6.3%、平成12（2000）年8.6%、平成22（2010）年9.6%、令和3（2021）年9.4%となっており、長期的に増加傾向にあったが、この15年程度は横ばい傾向である。」

低出生体重児の割合が増加する要因として様々な要因を挙げているが、改善可能な要因かつ指標として情報収集が可能な要因として、「妊娠前の母親の痩せ（低栄養状態）」「喫煙」が成育医療等基本方針に基づく評価指標としてたてられたと推察される。

なお、体重が小さく生まれた子どもほど、成人になってから生活習慣病や中枢神経系疾患の発症率が高くなることが知られている^{7),8)}。

引き続き、全出生数中の低出生体重児の割合の減少に向けて、地域の実情も踏まえつつ要因の軽減に向けた取組が必要である。

参考文献

- 1) 厚生労働省. 令和4年人口動態統計. 確定値 (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>) 2024.11.11
- 2) 厚生労働省. 令和4年度地域保健・健康増進事業報告. (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/32-19.html>) 2024.11.11
- 3) 子ども家庭庁. 健やか親子21ウェブサイト (<https://sukoyaka21.cfa.go.jp/about/growth02-sukoyaka21/>) 2024.9.22 閲覧
- 4) 子ども家庭庁. 令和5年度子ども家庭庁母子保健指導者養成研修資料 (https://boshikenshu.cfa.go.jp/assets/files/history/r5/tr5_lecture_1.pdf) 2024.9.22 閲覧
- 5) 厚生労働省. 令和5年度第一回医療政策研修会 資料 (<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001106697.pdf>) 2024.12.04 閲覧
- 6) 厚生労働省. 成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針 (<https://www.mhlw.go.jp/content/11908000/001076349.pdf>) 2024.9.22 閲覧
- 7) 子ども家庭庁. 母子保健情報誌第9号 https://boshikenshu.cfa.go.jp/assets/files/info-magazine/jyoho_no09.pdf 2024.9.22 閲覧

- 8) De Boo HA, Harding JE: The developmental origins of adult disease (Barker) hypothesis. Aust N Z J Obstetr Gynaecol 46: 4-14, 2006.

(文責：馬場幸子)

4 母子保健情報センター業務報告

<母子保健調査室>

母子保健調査室は、2014年度の組織改正により、企画調査部地域保健室の業務と企画調査部企画調査室の研修・広報・図書活動等を行う部署となった。2023年には改正にあわせた規程改正を行った。

2023年の所属常勤職員は医師1名、保健師3名（大阪府より派遣：2名、機構採用：1名）、兼務事務職員2名（総括マネージャー、再雇用職員）で、所属非常勤職員は保健師3名・事務職員2名、司書3名であった。さらに、後述する大阪府委託事業の思いがけない妊娠の相談窓口「にんしんSOS」に非常勤職員として保健師・助産師が、環境省委託事業の「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」（以下、「エコチル調査」とする）を担当するエコチル調査室に様々な職種の非常勤職員が在籍した。全体として30名を越える大所帯となっている。

I. 母子保健活動とそれにかかわる情報発信・多機関連携

1. 保健師活動

1) センター利用者の保健相談（指導）と地域保健機関との連携支援

母子保健調査室の保健師により実施した保健指導は1,627件であった。

そのうち、母子医療センター新生児科入院児の保護者、及び小児医療で高度医療を受けた児の保護者や社会的ハイリスク妊婦（母性）を対象とした保健指導は944件（初回保健相談は721件、継続保健相談は223件）であり、前年の874件から微増した（表1）。入院中に実施する病棟面接で最も多いのは母性の311件で、その次に多いのは新生児の239件であった。また、外来面接で最も多いのは母性の111件で、次点は小児医療の84件であった。初回と継続及び病棟と外来を合計した母性の面接は422件で、全体（944件）に占める母性患者の割合が多い状況が継続していた。

また、発達外来に通院する児とその保護者に対して、公衆衛生看護の立場からの育児支援を目的とした保健指導数は683件であり、昨年の725件から微減した。内訳は新生児科473件、循環器科114件、小児外科96件であった（図1）。

表1. 面接による保健相談件数(2023年)

相談方法	面接区分	初回	継続	合計
病棟面接	新生児	218	21	239
	小児医療	130	24	154
	母性	222	89	311
	その他	4	2	6
外来面接	新生児	7	25	32
	小児医療	38	46	84
	母性	96	15	111
	その他	6	1	7
小計		721	223	944 (874)
発達外来*				683 (725)
総計				1,627 (1,599)

*発達外来についての面接区分は図を参照のこと
 (保健師業務システム：面談日報データ、予約患者一覧表より作成)

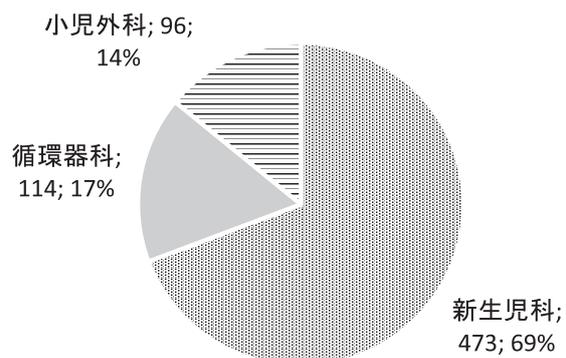


図1. 発達外来での保健相談 (2023年)

退院後の支援が必要な事例については、適切な支援が速やかに実施されるよう地域保健機関に要養育支援者情報提供票を作成し送付した（表2）。2023年の1年間で613件の提供票を発送し、送付先内訳としては、大阪府内が549件、府外が64件であった。府内では堺市、

表2. 宛先別要養育支援者情報提供票発送数及び対応結果票受理数（2023年）

大阪府内保健所・市町村／都府県		発送数		受理数*	
大阪府	府保健所	池田	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		茨木	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		守口	1 (0.2%)	1 (0.2%)	
		四條畷	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		藤井寺	1 (0.2%)	1 (0.2%)	
		富田林	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		和泉	1 (0.2%)	0 (0.0%)	
		岸和田	2 (0.3%)	2 (0.5%)	
		泉佐野	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		堺市	39 (6.4%)	33 (7.7%)	
	中核市	大阪府	222 (36.2%)	152 (35.7%)	
		高槻市	1 (0.2%)	1 (0.2%)	
		東大阪市	10 (1.6%)	7 (1.6%)	
		豊中市	1 (0.2%)	1 (0.2%)	
		枚方市	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		八尾市	8 (1.3%)	6 (1.4%)	
		寝屋川市	3 (0.5%)	2 (0.5%)	
		吹田市	2 (0.3%)	1 (0.2%)	
		市町村保健センター等	池田市	1 (0.2%)	1 (0.2%)
			豊能町	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	箕面市		1 (0.2%)	1 (0.2%)	
	能勢町		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	摂津市		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	茨木市		1 (0.2%)	0 (0.0%)	
	島本町		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	守口市		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	門真市		1 (0.2%)	0 (0.0%)	
	四條畷市		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	交野市		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	大東市		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	柏原市		3 (0.5%)	3 (0.7%)	
	松原市		11 (1.8%)	10 (2.3%)	
	羽曳野市		11 (1.8%)	1 (0.2%)	
	藤井寺市		9 (1.5%)	6 (1.4%)	
	大阪狭山市		16 (2.6%)	14 (3.3%)	
	富田林市		16 (2.6%)	13 (3.1%)	
	河内長野市		14 (2.3%)	12 (2.8%)	
	河南町		1 (0.2%)	1 (0.2%)	
	太子町		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	千早赤坂村		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
	和泉市		63 (10.3%)	44 (10.3%)	
	泉大津市		15 (2.4%)	3 (0.7%)	
	高石市		10 (1.6%)	7 (1.6%)	
	忠岡町		4 (0.7%)	2 (0.5%)	
	岸和田市		40 (6.5%)	35 (8.2%)	
貝塚市	4 (0.7%)		2 (0.5%)		
泉佐野市	17 (2.8%)		11 (2.6%)		
熊取町	8 (1.3%)		5 (1.2%)		
田尻町	1 (0.2%)	1 (0.2%)			
泉南市	4 (0.7%)	1 (0.2%)			
阪南市	5 (0.8%)	2 (0.5%)			
岬町	2 (0.3%)	0 (0.0%)			
大阪府合計	549 (89.6%)	382 (89.7%)			
他府県	京都府	2 (0.3%)	1 (0.2%)		
	奈良県	7 (1.1%)	5 (1.2%)		
	和歌山県	9 (1.5%)	6 (1.4%)		
	兵庫県	12 (2.0%)	9 (2.1%)		
	その他	34 (5.5%)	23 (5.4%)		
他府県合計	64 (10.4%)	44 (10.3%)			
総計	613 (100.0%)	426 (100.0%)			

※2023年に発送した要養育支援者情報提供票に対する対応結果票受理数（2023年末時点）

大阪市、和泉市への依頼が、府外では近接する兵庫県、和歌山県、奈良県への発送が比較的多かった。情報提供票の返信として対応結果票を受理した件数は426件と、7割ほどであった。年末発送の情報提供票に対する対応結果票が2024年に送付されるため、翌年を含めた最終的な対応結果票受理率は7割よりも高くなることが見込まれる。

2) 病院内外の連携業務及びカンファレンス

院内連携業務は、前年の2,654件から3,809件と43%増加した。最も多い連携分野は母性で、なかでも看護師との連携が多かった。小児医療分野では、看護師だけでなく、患者支援センター医療ソーシャルワーカー(MSW)との連携業務も多かった(表3)。院外に対しては、地域保健機関、地域児童福祉機関等と連携して支援を行っており、年間で3,546件の連携業務を実施した。最も多い連携先は市町村保健センター(3,231件)であるが、在宅高度医療児の支援の場合は保健所(253件)と連携した(表4)。カンファレンスでは、養育問題を抱えている事例に対して、情報の共有やアセスメント、援助方針の協議等を行っており、地域(院外)カンファレンスに46回、院内カンファレンスに63回の計109回参加した(表5)。

表3. 院内連携業務(2023年)

相談対象	医師	看護師	MSW	心理	P T	院内職員 その他	総計
新生児	71	510	175	76	0	12	844
小児医療	107	352	240	52	0	44	795
母性	24	1,726	356	6	0	23	2,135
その他	7	23	5	0	0	0	35
総計	209	2,611	776	134	0	79	3,809 (2,654)

(保健師業務システム：面談日報データより作成)

表4. 院外連携業務(2023年)

相談対象	保健所	市保健センター 町村	他医療機関	児童相談所	家児相	市町村福祉課	通園施設	保育所	幼稚園	小学校	中学校	その他 関係機関	総計
電話発信	103	2,229	0	1	16	8	0	2	0	0	0	5	2,364
電話受信	147	999	0	2	15	5	3	0	0	0	0	4	1,175
文書*	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
面談	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
総計	253	3,231	0	3	31	13	3	2	0	0	0	10	3,546 (2,438)

(保健師業務システム：面談日報データより作成)

*要養育支援者情報提供票の授受は含まない

表5. カンファレンス (2023年)

カンファレンス対象区分			職種別カンファレンス参加人数																								計	
			院 内												関 係 機 関													
			産科医師	母性内科医師	新生児科医師	小児医療部門医師	看護師	M	心	P	保健師	院内職員その他	小計	保健所	市町村保健センター	他医療機関	児童相談所	家児相	市町村福祉課	通園施設	保育園	幼稚園	小学校	中学校	関係機関その他	小計		
回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数			
外 院	在宅看護への支援	12	0	0	3	16	41	15	6	6	12	2	101	9	9	19	2	5	2	5	0	0	0	0	34	85	186	
	障害受容困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	育児能力、体制の不備	21	4	11	11	5	55	29	1	0	21	2	139	0	28	4	22	32	1	0	7	0	0	0	15	109	248	
	多問題を抱える	10	2	5	2	6	34	12	0	2	10	1	74	2	16	7	5	14	1	0	0	0	4	0	14	63	137	
	被虐待児及び疑い	3	0	0	0	7	14	7	1	0	3	1	33	1	1	0	3	4	0	1	1	0	0	0	2	13	46	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	46	6	16	16	34	144	63	8	8	46	6	347	12	54	30	32	55	4	6	8	0	4	0	65	270	617	
内 院	在宅看護への支援	23	0	0	5	37	63	29	17	1	24	0	176													0	176	
	障害受容困難	1	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	8													0	8	
	育児能力、体制の不備	12	0	2	4	9	29	16	5	0	14	0	79													0	79	
	多問題を抱える	9	0	0	13	11	39	12	2	0	10	0	87													0	87	
	被虐待児及び疑い	17	2	1	3	26	37	18	4	0	18	0	109													0	109	
	その他	1	0	0	0	1	3	1	0	0	1	0	6													0	6	
	小計	63	2	3	25	88	173	77	28	1	68	0	465													0	465	
総計	109	8	19	41	122	317	140	36	9	114	6	812	12	54	30	32	55	4	6	8	0	4	0	65	270	1,082		

(保健師業務システム：面談日報データより作成)

2. 地域保健機関に対する支援及び情報発信

1) 地域保健機関における母子保健活動推進のための技術的支援や実習

母子保健の水準向上に寄与すべく、地域保健機関に対し事例の相談対応や、事例検討会におけるスーパーバイズなど、技術向上への支援を行った。

2013年に母子保健法の改正により未熟児支援が都道府県（保健所）から市町村に移管され、移管前の2012年より継続して当センター複数部署の協力を得て市町村保健師等に研修を行った。2020年以降、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、研修をオンライン実施したところ、対面型開催よりも多くの保健師が参加でき好評であったことから、2023年の保健師母子研修もオンライン開催として実施した。また、保健師以外に、大学生に対して公衆衛生看護や公衆衛生についての講義・実習を行った（表6）。

表6. 母子保健関連実習・研修 (2023)

分別	依頼内容	機関 対象	人数	日時	対応
実習	発達外来保健師面談見学	初期研修医師	1 1	1月23日 2月21日	母子保健調査室 (保健師)
実習	公衆衛生学実習 (一部オンライン)	大阪大学医学部学生	3	6月1日～ 10月12日 14回	母子保健調査室 (医師・保健師)
実習	母性看護学分野講義 (オンライン)	大阪府立大学看護学部学生	13	7月18日	母子保健調査室 (保健師)

実習	助産学実習	甲南女子大学 助産師学生	4	8月3日	母子保健調査室 (保健師)
実習	にんしんSOS事業見学	賛育会病院職員	7	9月6日	母子保健調査室 (保健師)
実習	地域母子保健論臨床講義 (オンライン)	宝塚大学 助産学専攻科学生	10	11月14日	母子保健調査室 (保健師)
実習	公衆衛生学実習	近畿大学医学部1年生	9	11月8日、 11月15日	母子保健調査室 (医師・保健師)
研修	入退院支援研修2 (オンデマンド)	母子センター院内看護師	44	5月	母子保健調査室 (保健師)
研修	保健師母子研修 (オンライン)	府保健所・市町村母子担当保健師等	180 158	6月12日 7月20日	母子保健調査室 (保健師)
研修	母子保健コーディネーター 育成研修	府保健所・市町村母子保健に従事する保健師等	57	9月1日	母子保健調査室 (保健師)

2) 母子保健情報センター報告書の発行

母子保健情報センターの前身である企画調査部は、病院開設当初の1981年に設置された。大阪府の母子保健推進のため、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修・教育を実施してきた。また、地域の関連機関と連携し、院内の患者支援のみならず地域の母子保健の推進を行ってきた。大阪母子医療センターで行われている母子保健活動を横断的に取りまとめ、発信することで、患者支援における保健機関との更なる連携強化、大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的として、2016年度からは母子保健情報センター報告書を作成した。2017年度報告書では「健やか親子21の推進」に向けたデータ整備、2018年度報告書では、母性部門を中心とした社会的ハイリスク妊婦支援のとりくみと、大阪府委託事業である「にんしんSOS」、2019年度報告書では、地域診療情報連携システムである「南大阪MOCOネット」、2020・2021年度報告書では、院内における新型コロナウイルス感染症対応、2022年度報告書では、「CAP（キャップ）活動」について特集を組んだ。

3. WHO協力センター活動及び情報発信

・WHO協力センター（WHO Collaborating Centre for Maternal and Child Health）

1991年7月11日に指定を受け、現在においてもわが国で唯一の母子保健分野における協力センターである。WHO西太平洋地域事務所と協力して4年に1度の更新手続きを進め、承認された。2021年2月—2025年2月の期間に実施すべきTerm of Reference（業務内容）（日本語仮訳）は、以下の通りである。

- TOR 1 WHOの提唱する早期必須新生児ケア（EENC）の実施評価を支援すること
- TOR 2 国際基準のカンガルー・マザー・ケア（KMC）を継続的に実施すること
- TOR 3 施設内での出産に際する軽蔑や虐待を防止・排除に関するWHOの活動と研究を支援すること

4. 委託事業

1) 大阪府委託事業：「にんしんSOS」

大阪府からの委託を受け、2011年10月から電話及びメールによる思いがけない妊娠で悩む人の相談事業「にんしんSOS」を実施している。助産師や保健師から成る相談員10名のうち原則2名が従事し、週6日（平日5日＋日曜日）稼働した。相談対応以外に、相談員相互の情報交換やケース検討のため一か月に1回連絡会を行った。また、産科医師、外来及び病棟の看護部門、母子保健調査室保健師・医師等からなるワーキンググループを設置して、地域への紹介事例や母子医療センターへの紹介事例などの情報交換を隔月で行った。質の向上のため、自主研修や定期研修を行った。センター内の関係者からの意見をより委託事業に反映するため、2018年4月より委託事業運営委員会を設置し、年に1回委員会を開催した。

2023年度（速報値）の電話相談実件数は334件、メール相談実件数は495件、電話相談延（累積）件数は378件、メール相談延（累積）件数は920件、であった。概してメールによる相談が多かった。また、府内からの相談は58.2%、府外からの相談は33.3%、不明8.5%であった。関係機関への連絡を電話40件、メール131件行った（延べ件数）。啓発活動として、保健・医療機関、府立高校220校、私立高校109校に加え、商業施設、コンビニエンスストア、公共交通機関主要5駅、他依頼のあった施設に、「にんしんSOS」チラシ（A4サイズ）・カード合計約25,000枚を送付した。

2) 環境省委託事業：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

2010年に環境省より事業を受託した、妊娠期からの出生コホート研究事業である。全国15か所のユニットセンターの1つである大阪ユニットセンターは、大阪大学と当センターで構成され、当センターにおいては、母子保健調査室に設置したエコチル調査室が、調査運営を行っている。対象地域は和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町の9市町である。

エコチル調査室では、全数に行う調査に加え、約5%に行う詳細調査（家庭訪問による環境測定等調査、児の医学的検査や精神発達検査）を2014年12月から実施している。2023年度は、10歳詳細調査（1年目）を実施した。

全数に行う調査として実施している乳歯調査について、エコチル調査室では、各種媒体を利用した調査協力の呼びかけ、協力可否についての登録作業、乳歯回収キットの発送を行った。

その他の活動として、2023年9月21日及び2024年3月14日にエコチル調査地域運営協議会を開催し、エコチル調査の進捗状況、調査分析結果等を報告した。

また、広報活動の一環として、引き続き大阪ユニットセンターのホームページを担当した。「子育て応援コラム」では、「予防接種ストレス関連反応（ISRR）」、「甲状腺とその病気について知ろう」「スポーツ貧血」「産婦人科医から伝えたい、“せいり”のおはなし」の4記事を配信した。また「わかってきたこと」として、今年度大阪ユニットセンターより発表された学術論文7編について、和文抄録を作成し掲載した。参加者とのコミュニ

ケーションおよび調査継続意欲の促進のため、2022年12月より公開しているお子さん向けのページ「たこチルとあそぼう」では、目的としたパズル問題、調査に関するクイズ、参加しているお子さんから募集した「みんなの絵・メッセージ」の3種類の内容について掲載した。

II. 研修・教育等

• 研修・実地修練受け入れ

国内外から母子医療従事者及び研修者の受け入れ事業を行った。該当年は8人の初期研修医（大阪大学医学部附属病院・大手前病院）、29人の実地修練生・研究所研修研究員、132人の臨床実習生（大阪大学医学部・大阪大学歯学部・兵庫医科大学・近畿大学医学部・自治医科大学）を含む1,185人の受託実習生、60人の見学者を受け入れた。受入に際して、感染症対策のため事前の予防接種歴・胸部レントゲン検査結果の確認、当日問診票の確認を行った。また、後述するJICA研修では海外研修員15人に対しウェブ研修を提供した。

• 業務受託による研修

JICA関西から2023年課題別研修「周産期・新生児保健医療」にかかる業務を受託し、10月17日から11月6日まで10カ国15名（ブルンジ3名、エジプト2名、リベリア2名、ネパール2名、ラオス1名、マラウイ1名、パキスタン1名、サモア1名、タンザニア1名、ウガンダ1名）の研修員に対しウェブ会議・オンデマンド配信等による課題・添削形式で研修を実施した。

• センター内職員向け研修の推進

各種院内職員を対象としたセミナーの事務や、e-learningによる研修の運営管理を行った。

• 府民公開講座

第14回きつずセミナー「未来のきみへ～病院のお仕事2023～」(8月19日(土):対面、8月5, 11, 13, 20日:オンライン)、第18回光明池セミナー 知っておきたい「てんかん」の基礎(11月18日(土))を開催した。きつずセミナーは177名、光明池セミナーは63名の参加があった。一般向けのセミナーである室堂セミナー(2023年3月)は新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

• 年報・センター雑誌の発行

センターの活動をまとめたデータブックであるセンター年報(2022年第41号)を発行した。センターの研究成果などをまとめた医学雑誌第39巻第1号(2023年10月31日)を発行した。

III. 図書活動

1. 医学図書室(24時間開館)

医師や看護師など医療従事者対象の医学研究用図書室で、ジャーナルや書籍の貸出、レ

ファレンス、ILLの図書館サービスをおこなっている。

- 雑誌除籍：図書委員会にて雑誌の保存期間が全て5年に変更となったため（当センター発行資料除く）、その基準に従い除籍作業を行った。それに伴い電動書架は空となり、手前閲覧室にすべての雑誌を配架するようになった。
- 洋雑誌の冊子体購入を終了し、2023年からはすべて電子ジャーナルに移行した。電子ジャーナルおよび論文の検索が便利にできるよう、環境整備、利用促進の案内を行った。

<蔵書数>

和書	5,587冊（5,508冊）
洋書	1,723冊（1,723冊）
和雑誌	3,756冊（19,937冊）
洋雑誌	2,094冊（36,016冊）

<貸出状況>

貸出冊数	184冊（325冊）
貸出人数	122人（180人）

<文献複写>

- センター職員から外部機関への文献依頼 397件（361件）
- センター図書室への外部機関からの文献依頼 238件（388件）
（ナクシス/Coimo/FAX受付分含む）

<データベース等の利用件数>

医中誌Web	7,652	(7,582)
メディカルオンライン	12,858	(11,595)
LWW電子ジャーナル	3,395	(3,113)
Springer Link Hospital Edition	14,331	(12,837)
UpToDate	2,833	(2,550)
ClinicalKey	7,862	(7,555)
MEDLINE Complete	1,732	(1,741)
Full Text Finder（リンクリゾルバ）	2,917	(3,381)

2. 親と子のとしょかん（稼働日：284日）

入院患者とその家族を対象とする図書館サービスで、児童書を中心に本の貸出・レファレンス・読書指導をおこなっている。コロナ禍の為2020年2月末で活動を休止していたボランティアによる移動図書館サービスが、2023年4月末より再開となった（毎週金曜日に小児病棟を巡回）。

- 親と子のとしょかん便り「モコっと通信」を月1回発行し、定期的に親と子のとしょかんの催しやテーマ展示の案内を行った。
- 蔵書点検：6月に児童書をはじめDVD資料の棚卸を実施し、不明資料の発見や所蔵データの修正をし、書架の整理・点検を行った。
- 毎月のテーマ展示の他に、時事的な話題に関する本をピックアップ、ミニ展示を実施した。

<蔵書数>

児童書	7,174冊	(7,070)
大人用図書	931冊	(925)
DVD	492本	(498)

<貸出状況>

貸出冊数	14,169冊	(11,737)
貸出人数	3,162人	(2,464)

<移動図書館>

巡回日数	31日	(0)
貸出冊数	963冊	(0)
貸出人数	269人	(0)

(文責：馬場幸子)

<情報企画室>

1. 2023年の業務概要

当センターでは、総合診療情報システム（電子カルテ）を導入しており、院内業務の円滑化、効率化に寄与している。情報企画室では、2021年5月にシステム更新を行い、今年も安定的な運用に努めた。

電子カルテシステムの運用では、24時間、365日の安定稼働が求められる。2023年も情報企画室は、現場職員やベンダー技術員と協力し、業務に支障の出るような大きな障害なく、システムの運用を行った。

表1の開発・再開発対応件数については、年間839件（前年850件）と、1.29%減少した。これは、電子カルテシステム更新後3年目となり、運用に工夫をしようとする姿勢の表れと思われる。

表1. 開発・再開発対応件数（2023.1～2023.12）

所属科名	依頼件数	実施件数					
		件数	内訳（X：人日）				
			X<2	2≤X<5	5≤X<10	10≤X	
【病院】							
産科	39	39	39	0	0	0	
新生児科	22	22	22	0	0	0	
母性内科	5	5	5	0	0	0	
総合小児科	3	3	3	0	0	0	
消化器・内分泌科	93	93	93	0	0	0	
腎・代謝科	8	8	8	0	0	0	
血液・腫瘍科	4	4	4	0	0	0	
小児神経科	18	18	18	0	0	0	
子どものこころの診療科	1	1	1	0	0	0	
遺伝診療科	3	3	3	0	0	0	
呼吸器・アレルギー科	10	10	10	0	0	0	
小児循環器科	87	87	87	0	0	0	
心臓血管外科	39	39	39	0	0	0	
小児外科	61	61	61	0	0	0	
脳神経外科	13	13	13	0	0	0	
泌尿器科	13	13	13	0	0	0	
整形外科	3	3	3	0	0	0	
眼科	20	20	20	0	0	0	
耳鼻咽喉科	12	12	12	0	0	0	
形成外科	5	5	5	0	0	0	
口腔外科	22	22	22	0	0	0	
麻酔科	39	39	39	0	0	0	
集中治療科	36	36	36	0	0	0	
放射線科・放射線部門	39	39	39	0	0	0	
看護部	75	75	75	0	0	0	
病理診断科	12	12	12	0	0	0	
薬局	6	6	6	0	0	0	
患者支援センター	2	2	2	0	0	0	
MEセンター	1	1	1	0	0	0	
医療安全管理室	36	36	36	0	0	0	

感染管理室	2	2	2	0	0	0
栄養管理室	10	10	10	0	0	0
診療情報管理室	3	3	3	0	0	0
臨床検査部門	8	8	8	0	0	0
リハ・育療支援部門	0	0	0	0	0	0
その他	2	2	2	0	0	0
(小計)	752	752	752	0	0	0
【事務局】						
総務・人事G	19	19	19	0	0	0
経営企画G	24	24	24	0	0	0
施設保全G	0	0	0	0	0	0
新病院整備G	1	1	1	0	0	0
医事G	37	37	37	0	0	0
(小計)	81	81	81	0	0	0
【母子保健情報センター】						
母子保健調査室	1	1	1	0	0	0
図書室	0	0	0	0	0	0
情報企画室	0	0	0	0	0	0
エコチル調査室	0	0	0	0	0	0
(小計)	1	1	1	0	0	0
【研究所】						
病因病態部門	0	0	0	0	0	0
分子遺伝病研究部門	0	0	0	0	0	0
免疫部門	0	0	0	0	0	0
骨発育疾患研究部門	5	5	5	0	0	0
環境影響部門	0	0	0	0	0	0
(小計)	5	5	5	0	0	0
合計	839	839	839	0	0	0

表2の問い合わせ対応件数については、年間8,098件（前年8,344件）と、2.95%減少した。これは、電子カルテシステムの更新後3年が経過し、運用が定着してきたものと思われる。

表2. 総合診療情報システム問い合わせ対応件数 [部署別] (2023.1~2023.12)

所属	2023年												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
事務局	130	121	153	172	155	130	126	118	150	115	127	111	1,608
母子保健調査室	64	67	76	78	99	95	68	65	58	49	69	78	866
病院管理部門・医局	181	175	242	274	227	197	149	156	196	172	163	148	2,280
小児外来	27	18	40	32	30	36	41	35	26	23	32	26	366
母性外来	10	9	17	17	7	8	17	5	12	10	10	11	133
母性東棟	22	12	15	22	27	17	28	18	13	23	18	18	233
母性西棟	12	5	14	12	6	11	8	8	8	13	9	8	114
分娩部	11	12	14	15	15	14	10	16	10	13	7	12	149
I C U	28	23	16	27	20	19	16	20	11	13	12	11	216
手術室	14	24	17	24	12	12	17	16	24	12	13	23	208
新生児棟	11	9	14	17	17	16	21	27	19	20	29	13	213
1階東棟	8	8	8	7	9	6	6	5	8	4	5	4	78
2階東棟	5	7	12	8	4	5	3	5	10	3	9	3	74
3階東棟	8	10	7	15	17	7	12	10	11	14	17	10	138
3階西棟	3	7	8	7	7	10	13	6	13	5	4	10	93
4階東棟	6	12	8	14	14	14	9	8	8	8	7	6	114

4階西棟	6	8	4	10	8	8	7	8	5	5	6	3	78
5階東棟	7	15	16	19	13	8	5	8	6	13	9	7	126
5階西棟	11	9	10	12	5	5	9	3	5	7	4	4	84
検査科	5	10	30	12	19	23	8	24	10	15	16	16	188
放射線科	8	9	4	18	7	5	7	11	2	7	7	11	96
薬局	31	44	37	52	51	34	31	33	35	28	54	35	465
中央滅菌材料室	1	2	4	4	4	4	2	2	3	3	2	1	32
研究所	6	9	10	7	5	2	5	7	6	4	2	2	65
その他	8	16	2	3	10	5	6	3	9	4	8	7	81
合計	623	641	778	878	788	691	624	617	658	583	639	578	8,098

また、表3のインターネットシステム関連業務対応件数は、1,619件（前年1,684件）と、3.86%減少した。これは、インターネットシステム更新後5年が経過し、運用が定着したのに加え、2020年度から導入したWeb会議の運用の安定化に伴い、問い合わせが減少しているものと思われる。

表3. インターネットシステム関連業務対応件数（2023.1～2023.12）

対応内容	2023年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
クライアント対応	34	48	54	62	34	37	43	31	47	38	50	38	516
通信環境設定対応	23	28	26	95	31	20	28	20	32	28	16	14	361
ウイルス対応	11	8	7	3	0	3	2	1	3	2	0	1	41
ハード対応	0	1	3	12	4	0	1	0	2	0	1	3	27
メールアカウント対応	42	33	70	169	82	52	39	34	38	52	37	22	670
インターネットサーバ対応	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
合計	110	120	160	341	151	113	114	86	122	120	104	78	1,619

従来のソフト保守作業等は、主に以下のとおりである。

【主なソフト保守等項目】

- 電子カルテシステムのログインパスワード複雑化
- 電子カルテ端末の設置増の要望対応（分娩部医師控室）
- 小児リストバンドQRコード印字対応
- 救急・総合診療科の追加に伴うシステム改修

2. 2023年の活動

【診療情報システム（電子カルテ）】

第7期総合診療情報システムを安定稼働させた。また、2022年10月に発生した急性期センターのサイバー攻撃（ランサムウェア感染）事案に伴い、セキュリティ対策を行った。

診療情報システムに関連する作業として、主に次のものを実施した。

- サイバーセキュリティ対策に係る調査・対策

- アカウントロック・RDPのポート番号変更
- Active Directoryサーバのパスワード変更
- Active Directoryユーザの見直し対応
- 小児リストバンドQRコード印字対応
- 救急・総合診療科の追加に伴うシステム改修
- 手術室アクセスポイント増設対応
- 新生児棟の燻蒸処理に伴う支援

表4-1-1. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数 (2023.1 ~ 2023.12)

オーダ内容	2023年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
指導料	3,443	3,257	3,890	3,617	3,408	3,548	3,618	3,551	3,414	3,337	3,361	3,614	42,058
服薬指導実施	566	569	595	630	643	678	605	665	584	609	560	527	7,231
病名	5,019	5,166	5,504	5,504	5,124	5,271	5,401	5,795	4,904	5,223	5,071	5,194	63,176
D P C	4,373	3,089	4,700	3,655	3,997	4,478	4,495	4,217	3,721	3,268	3,398	3,563	46,954
入院	2,254	1,937	2,117	2,055	1,993	2,087	2,217	2,271	1,906	2,047	2,022	2,064	24,970
退院	2,042	1,917	2,078	1,929	2,030	1,999	2,161	2,279	1,955	1,974	1,954	2,156	24,474
転科	26	24	40	38	34	42	34	35	23	23	30	33	382
転棟	322	266	274	303	323	316	321	319	267	320	329	329	3,689
転室・転床	979	931	927	927	1,066	1,090	1,161	1,137	980	1,012	968	914	12,092
外泊・外出	272	288	424	352	372	443	482	447	424	369	390	437	4,700
帰院	261	302	415	369	385	435	494	451	445	380	391	448	4,776
入院申込	2,539	2,283	2,633	2,348	2,263	2,433	2,575	2,684	2,203	2,268	2,278	2,283	28,790
担当変更	822	757	858	837	868	777	912	916	784	883	828	855	10,097
退院許可	2,054	1,922	2,120	1,927	2,067	2,032	2,212	2,301	1,977	2,023	1,988	2,176	24,799
転棟申込	8	0	2	0	4	0	0	0	0	0	4	0	18
食事オーダ	4,864	4,311	4,912	4,692	4,954	4,796	5,264	5,242	4,885	4,895	4,920	4,950	58,685
検体検査	12,188	10,862	13,208	11,300	12,656	12,154	12,965	13,776	11,961	11,467	11,593	11,702	145,832
一般細菌検査	1,260	1,014	1,245	1,202	1,343	1,356	1,295	1,264	1,088	1,196	1,175	1,104	14,542
抗酸菌検査	2	4	3	0	2	1	3	3	2	1	2	2	25
輸血検査	840	732	786	758	844	824	844	961	738	798	770	765	9,660
解剖検査	1	2	1	1	2	0	1	2	2	0	0	0	12
病理診断	98	82	115	102	92	76	88	113	88	69	84	103	1,110
細胞診	6	13	9	7	4	5	2	5	1	6	8	8	74
細胞診(婦人科)	70	58	63	38	71	49	79	71	69	65	50	67	750
薬剤血中濃度	301	309	311	292	267	306	372	337	345	267	226	334	3,667
解剖検査(死産時)	0	0	0	0	0	1	1	4	5	1	2	1	15
胎盤検査	182	173	151	147	187	161	209	201	156	184	164	164	2,079
染色体検査	6	3	7	1	4	6	2	7	7	3	5	5	56
迅速検査結果加算	1,355	1,366	1,696	1,359	1,368	1,367	1,465	1,539	1,477	1,345	1,316	1,438	17,091
一般検体	11,632	10,263	12,282	10,677	12,041	11,460	12,395	12,999	11,406	10,999	11,128	11,132	138,414
一般細菌歴	1,095	881	1,103	1,052	1,171	1,196	1,173	1,137	985	1,057	1,028	998	12,876
抗酸菌歴	2	3	3	0	1	1	2	3	5	1	2	2	25
血液/輸血関連検査報告書	1,189	1,042	1,149	1,070	1,178	1,152	1,191	1,373	1,084	1,129	1,028	1,008	13,593
病理解剖記録	1	1	0	1	0	2	1	3	6	7	2	1	25
病理組織	77	82	121	110	92	78	83	109	81	88	75	98	1,094
細胞診	68	67	68	57	67	58	74	76	74	62	62	75	808
胎盤組織	190	159	165	150	186	160	200	196	176	176	160	170	2,088
一般撮影	1,288	1,391	2,042	1,525	1,460	1,451	1,594	2,025	1,515	1,447	1,432	2,044	19,214
ポータブル	992	938	1,104	1,099	1,280	1,260	1,403	1,364	1,133	1,210	1,311	1,098	14,192
透視・造影検査	73	76	104	78	72	72	88	83	76	77	63	64	926
C T検査	277	253	337	295	305	323	320	333	306	264	282	307	3,602
M R検査	293	246	295	229	233	256	268	273	229	270	247	242	3,081
R I検査	70	53	58	69	66	48	46	80	63	56	56	71	736
骨密度測定	35	41	73	38	32	23	21	48	26	32	42	63	474

血管撮影	46	38	67	53	33	46	49	53	46	53	47	42	573
超音波	350	315	418	356	400	359	386	410	338	354	287	331	4,304
放射線治療申込	3	1	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	10
画像持出・取込	206	224	299	191	197	242	203	312	203	178	186	214	2,655
画像診断依頼	3	2	10	2	3	2	5	7	6	3	5	7	55
歯科撮影	0	2	1	0	1	2	1	0	1	1	2	3	14
術中透視	32	24	31	28	34	31	31	34	25	17	21	36	344
放射線治療	165	266	152	116	6	86	187	11	0	0	0	0	989
(実)一般撮影	1,943	1,990	2,682	2,261	2,393	2,407	2,574	2,929	2,303	2,309	2,390	2,316	28,497
(実)透視・造影検査	73	75	95	89	71	76	82	92	82	96	67	76	974
(実)CT検査	281	228	304	286	324	324	301	350	295	251	282	306	3,532
(実)MR検査	172	152	178	148	165	164	174	179	151	172	167	162	1,984
(実)RI検査	32	28	32	28	47	21	24	36	27	31	27	35	368
(実)骨密度測定	24	33	60	28	21	22	21	34	22	26	34	46	371
(実)血管撮影	38	31	49	36	31	44	39	48	41	46	43	34	480
(実)超音波	283	254	340	284	313	276	312	316	264	291	248	277	3,458
(実)放射線治療	73	118	57	50	6	36	64	8	0	0	0	0	412
(実)画像持出・取込	204	226	288	186	182	237	204	309	211	203	187	212	2,649
(実)画像診断依頼	1	3	8	0	2	2	4	6	5	2	0	5	38
(実)歯科撮影	0	2	1	0	1	2	1	0	1	1	2	4	15
(実)術中透視	56	32	40	40	49	46	41	46	31	25	40	46	492
放射線レポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線画像	2,444	2,459	3,302	2,738	2,884	2,938	3,130	3,527	2,782	2,808	2,912	2,864	34,788
放射線治療	2	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	8
一般撮影レポート	5	1	29	1	6	2	2	0	1	4	3	16	70
透視・造影検査レポート	1	2	10	11	4	14	10	16	4	7	6	13	98
CT検査レポート	198	191	254	207	200	237	241	247	198	190	202	232	2,597
MR検査レポート	162	134	164	126	152	151	160	166	135	166	164	159	1,839
RI検査レポート	12	7	13	14	12	9	9	15	10	13	8	12	134
血管撮影レポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
超音波レポート	290	265	350	295	338	291	322	328	272	308	245	287	3,591
心カテレポート	26	41	32	46	40	42	34	54	47	95	30	72	559
画像持出・取込レポート	10	6	13	11	12	16	14	23	6	12	3	8	134
画像診断依頼レポート	2	0	6	0	2	2	4	4	2	3	0	2	27
内視鏡検査	194	180	272	199	209	230	231	251	236	226	241	249	2,718
内視鏡検査レポート	17	7	37	32	15	14	36	31	36	15	30	28	298
内視鏡検査画像	180	168	244	182	199	220	219	241	216	213	223	238	2,543
院内処方	533	468	564	469	522	497	549	520	539	488	536	524	6,209
院外処方	4,277	4,389	4,860	4,343	4,365	4,397	4,419	4,327	4,349	4,303	4,211	4,493	52,733
入院普通処方	2,427	2,266	2,632	2,528	2,547	2,701	2,687	2,782	2,438	2,535	2,539	2,606	30,688
退院処方	732	720	751	727	779	770	780	850	686	794	730	793	9,112
入院至急処方	1,516	1,262	1,335	1,274	1,469	1,417	1,718	1,452	1,291	1,419	1,405	1,414	16,972
済処方	27	25	10	20	13	17	41	18	25	15	17	31	259
院内麻薬処方	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外泊処方	26	16	24	27	18	19	22	23	31	17	36	42	301
宅配処方	11	11	8	10	8	9	8	9	5	8	6	10	103
入院済処方	299	278	245	270	321	259	346	336	267	294	254	276	3,445
検査処方	97	104	114	104	101	104	82	100	108	98	76	90	1,178
入院麻薬処方	2	1	0	2	6	2	0	0	1	3	0	0	17
疑義照会(処方)	0	1	2	2	2	0	0	0	1	0	0	1	9

表4-1-2. 第7期総合診療情報システムオーダー処理件数(2023.1~2023.12)

オーダー内容	2023年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
次回検査処方	140	137	224	160	171	181	172	217	184	176	167	225	2,154
外来治験処方	4	8	10	4	8	9	7	6	10	4	5	7	82
入院治験処方	0	3	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	7
入院検査処方	6	8	4	8	8	12	11	4	8	4	7	6	86
服薬指導依頼	6	2	7	3	7	2	5	3	4	10	8	6	63
入院次回検査処方	46	37	29	44	33	45	27	41	33	34	35	29	433

服用中断再開指示	529	257	360	379	603	318	451	414	475	331	532	513	5,162
服用中止指示	88	86	79	85	160	118	117	94	76	104	99	116	1,222
飲み切り終了指示	4	4	4	6	2	4	1	5	3	4	0	6	43
服用中止変更	4	4	4	6	2	4	1	5	3	4	0	6	43
持参薬報告	125	151	205	209	163	124	165	159	143	134	140	140	1,858
持参薬処方	90	75	113	109	103	67	112	109	81	77	85	96	1,117
服薬指導レポート	691	703	724	788	828	852	715	788	714	789	758	646	8,996
予約注射	614	552	597	508	487	481	463	559	487	526	530	467	6,271
入院一般注射	20,111	14,368	21,213	16,937	18,225	20,208	23,186	22,878	18,444	17,115	16,718	20,992	230,395
当日注射	559	633	539	505	665	712	730	576	521	567	480	521	7,008
入院臨時注射	8,250	7,005	7,467	6,761	7,927	8,127	9,369	8,569	6,913	7,444	6,815	7,211	91,858
実施済注射	413	370	147	176	262	269	353	342	316	316	330	118	3,412
特殊予約注射	267	240	280	240	262	223	263	235	262	233	502	280	3,287
入院治験注射	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症ストック注射	5,626	4,683	6,635	6,312	8,143	7,099	8,321	8,089	6,735	6,330	7,414	7,151	82,538
抗がん剤注射	215	219	185	153	148	283	266	220	231	224	379	425	2,948
実施確認	27	30	21	20	23	54	55	41	25	29	42	42	409
点滴速度変更	153	167	229	155	225	220	245	205	168	197	171	164	2,299
血糖・インスリン注射	905	549	549	201	430	603	699	272	148	1,223	1,274	975	7,828
払出注射	1,819	1,639	1,936	1,680	1,868	1,866	2,081	2,266	1,721	1,636	1,905	1,837	22,254
心電図	422	483	651	513	459	476	458	579	457	492	457	968	6,415
トレッドミル負荷心電図	13	20	22	22	22	17	20	25	15	20	19	17	232
脳波	132	130	175	134	118	132	160	202	159	147	138	126	1,753
心エコー	424	509	633	532	496	542	473	604	511	564	478	954	6,720
心電図(自科検査)	42	44	40	68	64	66	56	77	42	65	67	67	698
心エコー(自科検査)	173	162	210	241	286	234	268	254	229	276	330	194	2,857
胎児心エコー	24	18	21	24	29	24	29	27	24	24	20	20	284
呼吸機能	35	23	40	35	32	30	24	39	20	28	22	40	368
産科エコー	1,722	1,659	1,824	1,775	1,942	1,887	1,877	1,961	1,851	1,888	1,734	1,907	22,027
産科スクリーニングエコー	420	358	480	414	463	445	430	436	419	408	413	408	5,094
各科エコー(自科検査)	734	644	989	787	893	873	1,029	1,145	1,025	762	988	806	10,675
ホルター心電図	22	34	56	37	31	28	29	56	30	42	28	35	428
電気生理検査	18	8	18	6	5	15	4	5	7	12	20	7	125
ABR(耳鼻科)	29	30	50	28	28	43	39	34	36	31	40	250	638
呼吸機能(自科検査)	17	13	13	17	11	13	17	29	11	17	12	12	182
脳波(自科検査)	6	2	5	1	3	4	0	1	1	1	2	4	30
(実)心電図	343	389	525	426	397	412	371	455	389	402	386	410	4,905
(実)トレッドミル負荷心電図	9	15	11	12	15	12	14	13	13	15	14	15	158
(実)脳波	100	99	148	107	84	97	128	167	119	120	118	113	1,400
(実)心エコー	240	289	347	294	301	309	262	324	276	284	269	261	3,456
(実)心電図(自科検査)	42	44	43	70	66	66	56	79	42	65	71	68	712
(実)心エコー(自科検査)	173	164	216	251	290	235	268	257	232	286	336	198	2,906
(実)胎児心エコー	14	16	16	21	22	19	20	20	18	16	15	17	214
(実)呼吸機能	32	19	38	23	31	25	23	29	17	25	19	32	313
(実)産科エコー	1,720	1,660	1,827	1,780	1,947	1,895	1,884	1,967	1,860	1,898	1,737	1,909	22,084
(実)産科スクリーニングエコー	334	278	370	316	348	339	319	331	334	314	320	311	3,914
(実)各科エコー(自科検査)	734	645	994	796	913	892	1,038	1,152	1,030	772	992	811	10,769
(実)ホルター心電図	19	28	38	25	26	26	22	42	25	32	24	33	340
(実)電気生理検査	18	8	18	6	6	15	4	5	7	12	20	7	126
(実)呼吸機能(自科検査)	17	13	14	18	11	13	18	29	12	17	13	13	188
(実)脳波(自科検査)	6	2	5	1	4	4	0	1	1	1	2	4	31
生理検査レポート	1,357	1,340	1,783	1,540	1,534	1,537	1,458	1,672	1,445	1,534	1,418	1,426	18,044
生理画像	3,349	3,173	4,000	3,560	3,858	3,834	3,941	4,214	3,846	3,707	3,759	3,684	44,925
同意書	4,174	3,816	4,316	4,002	3,676	4,095	4,125	4,317	3,731	3,919	3,879	3,827	47,877
入院診療計画書	2,240	1,950	2,189	2,083	2,042	2,145	2,234	2,240	1,958	1,995	1,993	2,004	25,073
退院療養計画書	531	454	437	464	487	487	527	592	450	493	446	501	5,869
説明書	3,403	3,261	3,865	3,526	3,289	3,511	3,417	3,924	3,417	3,445	3,315	3,527	41,900
看護	592	596	507	631	709	604	725	834	651	688	607	623	7,767
手術記録	45	52	25	30	47	44	56	32	23	32	23	27	436
その他	1,805	1,768	2,704	2,133	1,973	1,971	1,990	2,038	2,129	2,416	2,034	1,748	24,709
診療情報提供書	1,811	1,799	2,197	1,939	2,028	2,156	1,981	2,181	2,040	1,988	2,065	1,921	24,106

管理文書	173	129	204	242	259	235	252	278	286	231	230	200	2,719
実施記録	114	109	158	108	117	120	125	167	133	133	131	117	1,532
診療カレンダー	6,759	5,693	5,509	5,795	5,946	5,825	6,472	6,449	5,829	5,994	5,689	5,961	71,921
妊婦健診チャート	8,138	7,493	8,647	8,210	9,738	9,358	9,229	9,127	8,450	8,638	8,793	8,412	104,233
記録	2,833	2,718	3,272	2,671	2,706	3,034	2,747	2,406	2,324	2,247	2,279	2,104	31,341
分娩記録	1,030	913	671	942	833	826	932	885	693	736	699	812	9,972
検査技師記録	2	12	13	6	11	5	20	6	18	7	6	13	119
薬剤師記録	889	829	1,021	969	947	1,035	1,026	1,061	947	963	992	990	11,669
保健師記録	411	455	441	378	496	392	431	527	464	459	432	442	5,328
心理士記録	1,107	1,088	1,300	1,076	1,104	1,201	1,141	1,280	1,118	1,137	1,214	1,066	13,832
ケースワーカー記録	864	951	1,193	1,033	1,011	1,120	1,003	970	1,050	1,105	1,090	1,070	12,460
S T 記録	665	639	806	648	589	661	699	769	672	678	700	702	8,228
視能訓練士記録	269	253	257	246	207	235	257	203	206	252	239	319	2,943
歯科衛生士記録	3	11	11	8	7	13	11	12	7	6	15	12	116
管理栄養士記録	807	769	1,017	841	751	736	892	873	809	957	714	874	10,040
C R C 記録	8	9	8	5	12	11	8	10	3	9	12	8	103
H P S 記録	348	354	414	352	372	408	425	423	364	353	324	322	4,459
P T 記録	962	854	1,066	933	1,022	1,058	1,094	1,112	885	946	832	838	11,602
O T 記録	538	460	698	629	531	490	487	505	699	559	534	533	6,663
プロGRESSノート	107,882	101,592	117,655	106,387	110,850	113,211	115,716	119,438	105,670	108,186	106,855	108,101	1,321,543
検歴貼付け	4,424	4,084	4,615	4,154	4,500	4,355	4,878	4,798	4,338	4,446	4,178	4,505	53,275
眼科レポート	2,490	2,653	3,088	2,570	2,671	2,794	2,755	2,307	2,759	2,804	2,777	2,803	32,471
退院時サマリ	3,336	2,883	3,749	3,393	3,583	3,407	3,477	3,800	3,249	3,116	2,938	2,863	39,794
科別サマリ	51	53	66	48	36	44	47	51	47	27	53	52	575
外来初診時ノート	282	329	323	346	340	336	306	349	326	321	282	292	3,832
診察済記録オーダ	959	1,155	1,387	1,253	1,052	1,218	1,218	1,171	1,101	1,132	1,055	1,159	13,860
レポートエディタ	499	425	525	458	500	468	502	556	455	428	485	461	5,762

表 4-1-3. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数 (2023.1~2023.12)

オーダ内容	2023年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
テンプレート	499	425	525	457	499	468	501	556	454	428	485	460	5,757
時間外診察記録	1,147	1,049	908	815	941	1,005	866	922	717	856	779	970	10,975
休薬完了	18	10	10	7	14	19	23	21	10	13	21	15	181
パス評価	417	371	447	392	376	366	388	437	407	372	408	411	4,792
アウトカムアセスメント	9,070	7,650	7,803	7,699	7,832	7,735	8,801	9,130	7,946	7,969	7,769	8,188	97,592
適応除外基準	761	635	662	691	687	642	723	767	664	719	683	680	8,314
終了基準	635	486	491	530	612	506	611	621	551	515	474	565	6,597
パスメモ	131	129	165	134	121	133	102	116	123	134	111	150	1,549
看護メモ	118	79	143	156	122	127	121	104	105	154	147	106	1,482
看護：日常生活ケア	2,868	2,306	2,483	2,376	2,695	2,633	2,789	2,787	2,452	2,631	2,606	2,533	31,159
看護：家族支援	217	185	170	213	219	191	208	198	188	208	183	225	2,405
看護：指導・教育	1,195	995	961	1,028	1,070	1,001	1,202	1,181	1,020	1,182	980	1,128	12,943
看護：組織間調整	1,358	1,177	1,043	1,215	1,188	1,185	1,421	1,402	1,177	1,331	1,149	1,276	14,922
看護：機器などの装着に伴うケア	730	481	548	504	567	633	633	551	550	559	565	567	6,888
看護：その他	1,948	1,612	1,559	1,635	1,759	1,655	1,930	1,874	1,674	1,821	1,645	1,827	20,939
看護：妊産褥婦のケア	2,019	1,705	1,578	1,727	1,803	1,589	2,103	1,890	1,761	1,917	1,645	1,862	21,599
看護：ハイリスク妊産褥婦のケア	456	395	344	373	372	327	415	379	384	376	380	444	4,645
看護：医療依存度が高い在宅ケア	20	23	10	21	12	27	9	9	2	2	10	13	158
看護：在宅療養体制確立支援	5	2	4	10	8	5	8	6	2	3	4	4	61
看護：安全・安心を確保するための支援	106	83	80	84	86	85	76	96	83	88	95	85	1,047
看護アセスメントシート	3,163	2,901	3,055	2,947	3,041	3,002	3,083	3,145	3,019	3,021	2,874	3,132	36,383
看護記録	35,810	32,371	35,993	34,417	36,411	35,909	37,859	37,466	33,852	34,590	33,567	33,505	421,750
実施記録	90,490	72,580	89,509	82,356	90,438	90,578	100,104	96,860	84,480	86,082	83,095	90,654	1,057,226
SOAP&フォーカス	27,290	24,657	28,295	27,327	29,027	28,822	30,271	29,291	26,757	27,837	28,081	27,622	335,277
看護計画	2,924	2,832	2,988	2,913	3,120	3,072	3,298	3,072	2,761	2,891	2,940	2,882	35,693
中間サマリ	84	90	98	91	78	60	108	124	130	92	103	102	1,160
退院・転院サマリ	782	952	849	834	756	878	701	1,019	858	716	688	612	9,645
助産記録 1	1,426	1,298	1,167	1,332	1,432	1,281	1,575	1,531	1,376	1,477	1,309	1,347	16,551

助産記録2	82	87	99	66	117	125	96	71	52	31	58	46	930
一般外来処置(指示)	639	688	803	766	809	713	773	831	688	703	686	692	8,791
一般外来処置(実施済)	1,414	1,443	1,547	1,437	1,647	1,566	1,548	1,618	1,492	1,528	1,591	1,582	18,413
入院処置	1,355	1,159	1,107	1,102	1,337	1,096	1,275	1,407	1,288	1,277	1,036	1,249	14,688
入院処置(実施済)	1,017	938	853	679	656	604	779	771	692	609	654	593	8,845
コスト伝票	2,600	2,490	2,932	2,585	2,883	2,676	2,819	2,761	2,494	2,585	2,441	2,657	31,923
コスト伝票(指示簿)	26,385	22,406	26,060	26,424	29,531	26,975	28,139	25,415	24,582	27,916	26,787	26,309	316,929
歯科処置(外来)	1,286	1,317	1,699	1,399	1,308	1,414	1,394	1,701	1,444	1,495	1,460	1,663	17,580
歯周チャート	18	30	61	6	14	17	18	44	27	12	13	36	296
衛生実地指導	503	487	636	476	457	504	497	537	478	479	442	519	6,015
眼科処置	1,670	1,756	2,140	1,740	1,882	1,954	1,977	1,725	1,981	1,955	1,969	1,993	22,742
リハ処方指示	62	80	74	79	79	86	104	97	69	73	92	81	976
リハ予約調整指示	3,444	2,953	4,035	3,703	3,750	3,867	3,603	3,832	3,460	3,672	3,134	3,235	42,688
手術申込	1,138	1,187	1,250	1,171	1,196	1,238	1,212	1,324	1,151	1,039	1,150	1,092	14,148
手術予約	2,334	2,173	2,395	2,192	2,202	2,237	2,340	2,545	2,083	2,059	2,329	2,209	27,098
手術実施	1,440	1,371	1,530	1,392	1,417	1,456	1,514	1,694	1,357	1,343	1,493	1,406	17,413
麻酔申込	2,974	2,971	3,258	2,987	2,981	2,972	3,028	3,180	2,781	2,703	2,994	2,808	35,637
手術記録	362	339	406	336	327	347	375	429	343	336	372	366	4,338
手術看護記録	1,863	1,728	2,028	1,637	1,762	1,849	1,955	2,197	1,665	1,715	1,816	1,760	21,975
手術レポート	260	210	289	224	249	243	252	264	239	213	245	211	2,899
血液製剤依頼オーダー	272	198	239	231	265	231	340	327	238	244	207	198	2,990
自己血採血依頼オーダー	20	31	23	19	20	23	38	30	26	32	26	21	309
幹細胞移植オーダー	1	3	1	0	5	1	3	3	1	0	1	1	20
輸血実施	306	200	294	273	344	294	348	380	267	259	258	260	3,483
自己血採血実施	18	24	15	16	19	23	33	27	26	26	22	17	266
幹細胞採取実施	1	2	1	0	5	1	2	3	1	0	1	1	18
血液製剤出庫報告書	1,575	1,160	1,413	1,512	1,666	1,537	1,819	1,871	1,440	1,453	1,249	1,329	18,024
血漿分画製剤依頼	83	72	97	96	103	83	93	112	73	66	89	96	1,063
外来サマリ	273	374	708	639	623	589	502	545	467	490	507	437	6,154
テンプレート	28,071	26,204	29,420	29,383	30,752	31,057	32,129	34,710	30,574	30,852	28,990	28,796	360,938
栄養指導	63	60	62	70	74	59	57	80	66	73	57	69	790
発達外来記録	9	11	13	7	19	7	17	3	8	15	12	20	141
外部非公開テンプレート	7,452	7,255	8,023	5,330	5,402	5,924	5,436	5,713	5,201	5,708	5,400	5,004	71,848
医学的根拠(冠動脈CT撮影加算)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
入院までの経過	584	480	505	582	573	566	618	605	534	548	535	564	6,694
入院時現症	468	415	441	451	480	500	546	543	458	479	499	499	5,779
中間サマリ	63	46	79	46	38	42	46	33	26	29	24	33	505
再診予約	29,727	28,778	34,007	29,633	29,359	30,678	30,648	33,870	30,066	30,040	29,714	29,603	366,123
他科診依頼	792	825	945	836	843	901	851	917	826	868	864	870	10,338
指示：栄養	4,420	3,498	4,261	3,918	3,987	3,789	4,539	4,346	3,661	3,801	3,910	3,839	47,969
指示：安静度	1,987	1,715	1,963	1,762	1,867	1,891	2,059	2,106	1,742	1,782	1,809	1,830	22,513
指示：清潔	940	780	959	786	919	821	901	931	740	729	787	884	10,177
指示：計測	3,042	2,381	2,535	2,527	2,594	2,444	2,747	2,923	2,490	2,594	2,589	2,600	31,466
指示：モニター	2,819	2,431	2,393	2,477	2,544	2,542	2,812	2,836	2,586	2,590	2,578	2,528	31,136
指示：点滴	3,276	2,973	3,138	2,840	3,019	3,054	3,354	3,413	2,889	2,847	2,784	2,800	36,387
指示：薬剤	3,437	2,955	3,131	3,186	3,417	3,203	3,742	3,344	3,007	3,175	3,092	3,358	39,047
指示：検査	2,074	1,713	1,837	1,692	1,786	1,715	2,083	1,917	1,573	1,869	1,847	1,793	21,899
指示：処置	2,054	1,630	1,982	1,929	2,097	2,101	2,202	2,335	1,847	2,065	2,129	1,997	24,368
指示：発熱時	1,008	737	1,035	870	891	1,014	1,021	1,054	768	878	812	854	10,942
指示：痙攣時	165	117	150	189	145	194	179	145	137	115	161	130	1,827
指示：疼痛時	1,137	921	1,113	912	934	953	1,156	1,226	837	929	903	966	11,987
指示：腹痛時	5	8	4	2	1	3	6	0	2	1	3	6	41
指示：頭痛時	18	12	17	3	11	7	16	12	4	10	17	14	141
指示：不眠時	142	85	110	80	76	96	104	79	101	66	87	82	1,108
指示：不穏時	41	27	27	33	33	21	18	20	31	25	32	25	333
指示：嘔気時	251	204	214	122	171	158	167	220	145	159	120	136	2,067
指示：便秘時	748	598	771	697	764	757	792	816	630	735	670	726	8,704
指示：掻痒時	61	45	35	40	46	49	53	60	37	40	48	36	550
指示：消毒	24	18	32	21	25	33	39	29	29	20	24	20	314
指示：酸素	645	485	533	556	602	692	619	601	476	555	587	562	6,913
指示：呼吸器	349	259	399	338	291	396	418	278	271	302	327	254	3,882
指示：面会	13	16	34	16	4	26	19	17	6	7	11	14	183

表4-1-4. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数 (2023.1~2023.12)

オーダ内容	2023年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
指示：連絡	587	543	655	507	522	568	667	729	506	562	576	565	6,987
指示：その他	3,248	2,755	3,115	2,739	2,854	3,031	3,219	3,167	2,902	3,084	3,016	3,041	36,171
指示：術前(麻酔科)	1,315	1,269	1,352	1,328	1,381	1,217	1,379	1,484	1,231	1,160	1,260	1,174	15,550
指示：術後(麻酔科)	326	354	343	379	452	349	473	439	329	309	333	325	4,411
指示：インスリン・血糖	164	95	116	61	116	111	209	147	75	231	172	189	1,686
指示：術前	19	15	30	22	12	13	16	30	21	23	15	24	240
指示：術後	62	41	68	82	55	71	40	79	103	105	61	68	835
指示：レスパイト②	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栄養管理計画	487	414	352	397	430	386	469	453	407	463	397	392	5,047
栄養管理計画(小児)	1,514	1,199	1,477	1,281	1,372	1,455	1,409	1,404	1,148	1,221	1,299	1,274	16,053
NST介入依頼	2	2	3	1	1	1	0	4	1	0	1	1	17
褥瘡介入依頼	3	1	6	3	1	1	1	4	1	1	3	0	25
在宅医療支援介入依頼	20	13	13	14	7	13	8	14	18	17	17	14	168
チーム医療却下理由	2	4	3	1	2	1	0	0	1	0	2	1	17
チーム医療受付	19	23	19	16	6	10	15	21	13	17	19	14	192
栄養スクリーニング(小児)	1,306	1,138	1,341	1,214	1,266	1,256	1,251	1,293	1,087	1,124	1,150	1,094	14,520
栄養アセスメント・カンファレンス記録	65	76	81	63	127	102	111	137	111	132	96	94	1,195
栄養スクリーニング(母性)	312	270	232	255	257	207	258	253	218	246	221	240	2,969
危険因子評価票	1,853	1,607	1,713	1,682	1,720	1,730	1,864	1,938	1,617	1,814	1,761	1,812	21,111
褥瘡対策計画書	1,257	1,060	1,207	1,222	1,196	1,182	1,244	1,346	1,185	1,312	1,329	1,186	14,726
アセスメント票	169	188	212	184	168	171	177	183	153	212	188	149	2,154
褥瘡経過記録	392	249	351	321	368	402	413	360	305	354	378	314	4,207
褥瘡発生報告書	63	47	46	66	55	77	71	55	44	42	57	47	670
危険因子評価票	0	1	1	2	0	5	3	0	4	4	0	4	24
創傷発生報告書	86	71	61	42	93	79	57	77	76	64	78	38	822
創傷経過記録	364	337	388	205	306	310	255	260	344	286	320	298	3,673
ASTラウンド記録	45	41	45	59	73	93	47	50	53	44	65	42	657
ICT抗菌薬ラウンド記録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カンファレンスシート	7	1	0	4	0	0	0	4	0	1	5	0	22
在宅医療支援介入終了	12	10	18	14	4	14	5	8	17	14	15	16	147
褥瘡カンファレンス記録	10	8	21	9	13	11	13	11	10	18	6	5	135
他院紹介患者	1,098	1,094	1,388	1,236	1,278	1,294	1,286	1,397	1,243	1,241	1,194	1,262	15,011
Excelチャート	2,709	2,469	2,496	2,523	2,717	2,695	3,353	3,119	2,656	2,919	2,544	2,650	32,850
合計	647,269	577,471	675,115	619,237	656,546	658,310	696,177	704,159	620,878	634,858	623,222	639,013	7,752,255

【インターネット等】

インターネット機器については、2024年6月末にリース期間満了に伴い、賃貸借入札・契約を行った。また、今年(2023年)も、インターネット環境についての円滑な運用に努めた。

インターネット環境における関連作業として、以下のものを実施した。

- インターネット機器一式の賃貸借入札・契約
- 電子メールに送られてくるコンピュータウイルス対策と院内への注意喚起
- 新インターネットシステムのシステム構築検討

(文責：西谷嵩平)

編集後記

大阪母子医療センターは、1981年に周産期部門の診療を開始し、1991年には小児医療部門と研究所を開設しました。現在、大阪母子医療センターは、総長のもとに、病院・母子保健情報センター・研究所・事務局の4部門で構成されています。

母子保健情報センターの前身である企画調査部は、開設当初の1981年から、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修や教育、地域の関連機関と連携した患者支援など、大阪府の母子保健の推進を多岐にわたって行ってきました。

母子保健情報センター各業務をより詳細に記録すること、特に母子保健関連業務の実績を公衆衛生的観点で取りまとめて発信することで、患者支援における地域機関との更なる連携強化や大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的に、2017年12月に、2016年度母子保健情報センター報告書（初版）を発行しました。今回は2024年12月に、2023年度報告書を発行します。

この報告書では、リトルベビーハンドブックについて特集として記載しました。NICU副看護師長の吉田佳織看護師、大島ゆかり看護師にインタビューの機会をいただき、NICU入院中の極低出生体重児とその家族の支援について掲載することができました。ご多用のところ、ご協力を賜り、深く感謝いたします。その他、大阪府母子保健指標のまとめと低出生体重児関係の活動評価目標、母子保健情報センター業務報告を掲載しました。貴重な市町村データを活用させていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今後も、母子保健情報センター報告書を通じて、大阪母子医療センターにおける母子保健活動を発信していきたいと考えています。引き続き、皆様方のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(母子保健調査室：馬場幸子)

<作成：母子保健推進委員会小委員会（50音順） 2024年度メンバー>

上田美香（患者支援センター）、江口奈美（看護部/患者支援センター）、岡田夏織（母子保健調査室）、川口めぐみ（看護部/患者支援センター）、清水仁美（母子保健調査室）、田中はるみ（看護部）、谷川果菜美（母子保健調査室）、西谷嵩平（情報企画室）、西野淳子（看護部）、馬場幸子（母子保健調査室）、平野慎也（新生児科/発達外来推進室）、桧山智香子（母子保健調査室）、福江めぐみ（発達外来推進室）、本城孝一郎（事務局/母子保健調査室）、和田聡子（看護部）

母子保健推進委員会小委員会アドバイザー

光田信明（病院長）、和田和子（副院長）

母子保健情報センター報告書

2024年12月 発行

発行元：地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
Tel 0725-56-1220 Fax 0725-56-5682

作成者 母子保健推進委員会小委員会

印刷所：和泉出版印刷株式会社
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目5番4-201号
Tel 06-6946-1073 Fax 06-6946-7684

